# 2016 年春季 UILI 会議
# 役員会
# ＜日環協代表団参加報告＞
# 《テレビ会議》
# 2016 年 4 月 12 日

一般社団法人 日本環境測定分析協会

# 目　　次

■会議概要 ..... 1
■アジェンダ ..... 2
■議事録 ..... 3
資料 ..... 13
資料(和訳) ..... 89

## ■会議概要

---

開催日時：　**2016 年 4 月 12 日(火) 21:00～22:00**

開催場所：　**Skype** 上で開催

出席者（敬称略）：

| | | |
|---|---|---|
| 会長 | ルーク・ショルティス | オランダ/VRS |
| 前会長 | マナヘン・フェルナンデス・アロンソ | スペイン |
| 副会長 | ジョルディ･オリバー･ロデス | スペイン/AELI |
| 財務担当 | 松村　徹 | 日本/JEMCA |
| 事務局長 | マリアンヌ･アデコ | ナイジェリア/IPAN |
| 非協会会員代表 | アルフレド･モンテス･ニノ | ブラジル/ Micriobioticos 社 |
| 代表代理 | ハンス・JHF・ファン・デル・ワルト | オランダ/VRS |
| 代表代理 | ホセ・ロセイロ | ポルトガル/RELACRE |
| 代表代理 | フェミ・オイディラン | ナイジェリア/IPAN |
| 事務局 | メリッサ･M･フェルナンデス･バレロ | スペイン |

〈　組織名　〉

| | |
|---|---|
| UILI | Union Internationale des Laboratoires Indépendants |
| AELI | Asociación Española de Laboratorios Independientes |
| CALIBA | Cámara Argentina de Laboratorios Independientes Bromatológicos, Ambientales y Afines |
| CCIL | Canadian Council of Independent Laboratories |
| EUROLAB | European Federation of National Associations of Measurement, Testing and Analytical Laboratories |
| IPAN | Institute of Public Analysts of Nigeria |
| JEMCA | Japan Environmental Measurement & Chemical Analysis Association |
| RELACRE | Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal |
| VRS | Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria |

## ■アジェンダ

1. 出席者の歓迎
2. 欠席の連絡（いれば）
3. アジェンダの承認　資料A
   - 3.1. 議事録の確認と承認
   - 3.2. 2015 年 9 月 16 日ブエノスアイレス開催、2015 年第 2 回役員会 資料B
   - 3.3. 2015 年 9 月 17 日ブエノスアイレス開催、第 26 回総会　資料C
   - 3.4. 2016 年 3 月 29 日、1 月 26 日開催、幹部会　資料D・E
   - 3.5. 議事録に係る懸案事項（アジェンダ外）
4. 財務報告
   - 4.1. 2015 年損益計算書、貸借対照表　資料F・G
   - 4.2. 債券再投資
5. インド・ニューデリー開催予定の 2016 年第 2 回役員会に向けての準備
   - 5.1. 2016 年 10 月 27 日、28 日のプログラム素案　資料H
   - 5.2. LabMeeting 2016 – ステークホルダーとの交流 (ILAC/IAF)
6. 会員勧誘活動
   - 6.1. UILI 広報活動と関係文書更新
   - 6.2. 試験所協会のリスト
   - 6.3. 175 のインド試験所のリスト
   - 6.4. AOIL – インド、インド試験所協会
   - 6.5. NLA – 南アフリカ、全国試験所協会
   - 6.6. ALPIC – コロンビア、コロンビア独立試験所協会
7. ILP 委員会　2016-2017ILP 経過報告
8. 加入団体活動、ワーキンググループ活動報告
   - 8.1. ILAC – LLC WG - フランクフルト
   - 8.2. ISO/CASCO - ISO 17025 WG 報告　資料I
   - 8.3. EUROLAB - UILI-EUROLAB WG 報告
   - 8.4. ISO/REMCO、エカテリンブルグ　資料J
   - 8.5. 今後の会議予定
   - 8.6. 2017 年第 1 回 -2017 年 4 月 11 日 – skype 会議
   - 8.7. 2017 年第 2 回 – 2017 年 9 月 21 日
9. その他（会長承認）
10. 閉会

## ■議事録

---

2016 年第 1 回 役員会
2016 年 4 月 12 日
テレビ会議
ブラジル 9 時、ポルトガル･ナイジェリア 13 時
スペイン･オランダ 14 時、日本 21 時
開始

**1. 歓迎**

ショルティス博士は出席の役員を歓迎し、実り多い会議となるよう挨拶した。

**2. 出席者の確認と欠席のお詫び**

ショルティス博士は、次の役員より欠席のお詫びがあったことを報告した。

- マルタ・サンチョ氏 – CALIBA
- ギブ・マケンティ氏 – CCIL
- ヤン・ソレス氏 – GEOS

アルバロ･シルバ･リベイロ博士とヤン・ソレス氏からはメールがあり、同時刻に別の会議が重なっているが、そちらが終われば本会議に参加したいとのことであった。

**3. アジェンダの承認** 資料 A

ショルティス博士は、本会議のアジェンダは、事務局より配信済みであり、同時に次の議事録も送っていると述べた。これら文書への修正意見の有無を一同へ確認した。

3.1. 議事録の確認と承認

3.2. 2015 年 9 月 16 日ブエノスアイレス開催、2015 年第 2 回役員会 資料 B

3.3. 2015 年 9 月 17 日ブエノスアイレス開催、第 26 回総会資料 C

3.4. 2016 年 3 月 29 日、1 月 26 日開催、幹部会資料 D・E

ブエノスアイレス総会議事録は確認のため配布されたが、正式には次回 2017 年総会にて承認される予定であるとのこと。

会長は上記議事録を一つ一つ出席者へ確認し、修正等意見はないか確認した。

意見は特になく、アジェンダと議事録は承認された。

### 3.5. 議事録に係る懸案事項（アジェンダ外）

フェルナンデス氏は、ブエノスアイレス会議からの懸案事項２件を挙げた。:

- *インターネットバンキング申込:*

  フェルナンデス氏は、申込書、提出書類は銀行へ提出済みで、先方の回答待ちであることを報告した。

- *非協会会員代表を 1 名から 2 名に変更するための規約改訂について:*

  規約条項 5.6 には、「*条項 5.6 役員会は、協会会員から最低 1 名と、正会員の代表 1 名で構成される*」とある個所について、役員からの改訂案で「*条項 5.6 役員会は、協会会員から最低 1 名と、正会員の代表 2 名で構成される*」とする。

  フェルナンデス氏は、これについてはブエノスアイレス総会で改訂が承認されたことであると確認した。

## 4. 財務報告

4.1.2015 年損益計算書、貸借対照表 資料Ｆ・Ｇ

松村博士は、財務諸表は事前に事務局から受け取り、内容を確認、承認済みであることを報告した。

ショルティス博士はフェルナンデス博士へ簡単な内容説明を促し、次の通り報告された。

1. 2015 年収支は 350 ユーロの赤字で、内訳は次の通り:
   - 予算に対し、支出は 3,500 ユーロ減
   - 予算に対し、収入は 4,600 ユーロ減。内訳は次の通り:
     - –ILP 収入減: 1.350 €
     - - 広報・スポンサー料・ワークショップ収入減: 3.000 € （役員会・ワークショップ支出として予算を立てていたワークショップ LABMEETING の収入は、実に、1635 €あった）
     - –未償還が確認され、銀行利息減:200 €

2. 2015 年 12 月 31 日現在 貸借対照表の報告は次の通り:

2015 年末現在で、UILI は

- 銀行口座の残高が約 63.200 €
- 純資産 60.654 €

ショルティス博士は口座について質問がないか一同へ確認したが、特になかった。かれは財務担当とフェルナンデス博士に報告のお礼と、今年度の UILI の黒字転換への期待を述べた。

4.2. 債券再投資

ショルティス博士は松村博士へ、資産が補償される方法はないか聞いた。

松村博士は、自身はヨーロッパの投資環境に詳しくないことを説明し、他の参加者へ状況を聞いた。

ショルティス博士は、ヨーロッパの投資環境は大変悪い状況であると答えた。

松村博士は、利息 10 ユーロを容易に得られるアジアの国はあるが、常にユーロへの換算リスクがあると述べた。

ショルティス博士は、現時点では、資産は現金で持ち、会員にはリスクの無い提案を求めることが最善の方法ではないかと述べた。出席者はこれに合意し、結果、次回会議までは投資を行わないこととなった。

## 5. インド・ニューデリー開催予定の 2016 年第 2 回役員会に向けての準備

5.1. 2016 年 10 月 27 日、28 日のプログラム素案. 資料 H

5.2. LabMeeting 2016 – ステークホルダーとの交流 (ILAC/IAF)

ショルティス博士は、プログラム素案は作成されたが、ILAC インド側主催者から ILAC プログラムと開催場（ホテル）に係る連絡待ちであることを報告した。

また、LABMEETING のプログラムはまだ確定されておらず、ILAC/IAF ステークホルダーとの交流行事に魅力的なトピックを考えなければならないことを述べた。

フェルナンデス氏は ILAC 担当者へ何度も問合せ、ILAC 行事のプログラムの確認をしたが、まだ用意ができていないとの回答であったとのこと。彼女はまた、会場となるホテルについても問い合わせたが、得られた情報はおよその宿泊料金だけで、それは追って役員へ配信すると述べた。

アデコ氏は、ILAC へ招待状を作成することを提案した。

マナヘン･フェルナンデス博士は、個人的な意見として、ワークショップでの講演は 2-3 名以内、との考えていると述べた。例えば、テーマ案として、ショルティス博士から「世界の試験所業界における UILI の役割」、ホセ・ルイス・サンチェス博士から「地域試験所協会」、アルバロ･シルバ博士「EUROLAB と UILI との関係」…

アデコ氏は、会員勧誘もテーマに挙げることを提案した。

アルフレド･モンテス氏は、現時点で、どの ILAC セッションに UILI 会員が参加するのか提案はあるのか確認された。

また、ショルティス博士は、ILAC 会議の基調講演に UILI から演者を出すことを提案した。その講演は万全の準備で臨む必要がある。

アルフレド氏は、自身は…に出席することと述べた。

松村博士は、インド査証の準備を始める必要があると述べた。また、会議開催時のインドは、高温多湿であるとのこと。更には、フェルナンデス氏に対し、来月ニューデリーへ行く予定なので、会議運営で手伝えることがあれば連絡をするよう伝えた。

## 6. 会員勧誘活動

フェルナンデス氏は、会長、事務局長、その他役員とともに協会への会員勧誘活動を積極的に行っている。

### 6.1.UILI 広報活動

フェルナンデス氏は、会員勧誘活動の次の段階は、入会の案内と申込書を、これまでに連絡先を収集した世界の試験所・試験所協会へ一斉配信であると述べた。入会案内には、UILI 案内パンフレットと入会申込書が含まれる。

### 6.2.パンフレット類、文書様式の改訂

フェルナンデス氏は、パンフレット、申込文書類は更新され、会長・事務局長の承認済みであることを報告した。

### 6.3.試験所協会のリスト

フェルナンデス氏は会長とナディーン・ボーマン氏が UILI ウェブ上に世界各国の試験協会と試験所のリストを作成したことを報告した。

### 6.4.175 のインド試験所のリスト

フェルナンデス氏は、10 月の LABMEETING への出席者確保のため、インド試験所のリスト作成中であることを報告した。

### 6.5.AOIL – インドの試験所協会

フェルナンデス氏は、AOIL 内何名かに、10 月の UILI ニューデリー会議について連絡済であることを報告した。また、シルバ博士からインドの知り合いの連絡先を何件か紹介され、会議運営に役立っているとのこと。更には、松村博士が、LABMEETING の運営に協力してもら

えるよう、知り合いのインド試験所へ連絡をとっていることを報告した。

6.6.国家試験所協会 NLA 南アフリカ

フェルナンデス氏は、アデコ氏が、南アフリカの試験所へ、入会関係資料を配信し、積極的に勧誘活動に協力していることを報告した。

6.7.南アメリカ:

フェルナンデス氏は、アルフレド･モンテス･ニノ博士とマナヘン・フェルナンデス博士が、南アメリカ（ブラジルとコロンビア）の協会探しを行っていることを報告した。フェルナンデス博士はコロンビアのある協会の責任者と何回か Skype 通話を行い、先方の回答を待っている状況とのこと。

アルフレド氏はブラジルに 3 つ：毒性分析、環境分析、薬剤分析試験所の協会をみつけたことを報告した。現在、食品・農業試験所の協会設立を検討中で、UILI の協力の可能性を模索しているとのこと。上記 3 協会に対し、ポルトガルで開催のイベント上で会長代理として UILI 入会を促す講演を行いたいため、事務局へ講演資料の作成を依頼した。講演資料はポルトガル語でなければならず、自身で翻訳は行うが、翻訳のチェックが必要とのこと。

マナヘン･フェルナンデス博士は、これにはアルバロ博士が適任であり、前にも申し出たことがあると述べた。

ショルティス博士は、アルフレド氏と、フェルナンデス博士に本件への協力に感謝を述べた。

## 7. ILP 委員会　2016-2017ILP 経過報告

松村博士より、良い知らせで、第 10 回 ILP に JECMA は 140 試験所の参加者を集められたと報告した。現在、試料の安定性、均一性試験を行っており、4 月末には配布可能とのこと。

ショルティス博士は、CALIBA と RELACRE から参加要領がまだ出されていないことを加えた。

フェルナンデス氏から、現時点での各 ILP の申込数が報告された。:

- 2016 （累積合計：25 ）
  - 10th － 7
  - 11th － 9
  - 12th － 1
  - 13th － 7

- 2017 （累積合計： 13）
    - 14th - 4
    - 15th - 3
    - 16th - 0
    - 17th - 6

アデコ氏は、**JEMCA ILP は試料の準備ができ次第、他のプロバイダーを待たずに配布を始めるべきと述べた。**

フェルナンデス氏は松村博士へ、試料は協会へ送られるのか、参加試験所へ直接送られるのかを確認した。

アデコ氏は、協会に届いた試料を地域毎に再配布すると参加試験所へ届けられる時期が遅くなることを指摘した。

松村博士は、試料は協会へ送付したいと答えた。各試験所への直接配送は大変な費用がかかるもので、試料１件の輸送費は、国内での試料５件分の輸送費に当たり、よって各国協会が試料をまとめて受け取り、国内の参加者へ再配送する方式をとりたい考えであることが説明された。

アデコ氏はこれに同意し、試料は IPAN が受け取り、各試験所へ再配布することを確認した。

ショルティス博士は、将来的に、ヨーロッパ内に試料配送拠点を設けることを提案した。

## 8. 加入団体活動、ワーキンググループ活動報告

### 8.1.ILAC – LLC WG

- ISO/CASCO - ISO 17025 WG 報告 資料Ⅰ

  アデコ氏は次回 WG 会議を 4 月 29 日に予定していたが、WG44 への UILI 代表であるマケンティ氏の予定が合わなかったため、事務局からマケンティ氏へ連絡をとり、日程を再調整している状況であることが説明された。

アデコ氏は、サンプリングについては、前回 WG44 で、試験所活動にサンプリング問題を含むよう再定義する決議が下されたことを報告した。

ショルティス博士は、前回 WG44 でマケンティ氏は UILI と EUROLAB の間で決めたものとは異なる立場をとったため、UILI の代表参加として良い例とは言えないと感じたことを述べた。

アデコ氏は、9 月開催の次回 WG44 に八十島博士が出席予定であることを報告した。

それに対し、松村博士は、八十島博士は育児休業取得予定で会議には出席できないため、JEMCA から他の者を参加させるのに人選中であると述べた。

アデコ氏は、ISO の窓口にフェルナンデス氏を推薦した。

- EUROLAB - UILI-EUROLAB WG 報告

ショルティス博士はフェルナンデス博士へ、次回会議に出席可能かを確認した。

フェルナンデス博士はサンチェス氏へ会議開催の詳細を確認後に自身の出欠を連絡することを伝えた。.

- ISO/REMCO

ショルティス博士は、UILI と ISO REMCO 間のリエゾン会員資格取得は大変良いニュースで、委員会へはアルフレド氏が UILI を代表して出席することと、次回会議はロシアで開催されることを報告した。

松村博士は、JEMCA は、5 月には REMCO 対策委員会を設置し、REMCO ロシア・エカテリンブルグ会議へ出席者を出す予定だが、日本人はロシア査証を取得するのが難しいと述べた。

アルフレド博士は、自身はアルゼンチン国籍をもっており、査証は必要ないと述べた。

フェルナンデス氏は、REMCO 事務局から 4 月末までに年次報告の提出を求められていることを報告した。文書では彼女では対応できないような技術的な内容が要求されているとのこと。資料 J

ショルティス博士は松村博士へ、本依頼文書を確認、対応を依頼した。

松村博士は提出文書の確認を承諾、関係標準のファイルを送り事務局を助けることを承知した。

アルフレド氏は、UILI が独自の標準物質(reference material)をもっていることを始めて知った。技能試験に係る標準(standard)は標準物質の製造とは異なる考えであることを述べた。

これに対しショルティス博士は、異なる UILI-ILP プロバイダーが作成した試料（sample）は、測定された時点で、標準物質（reference materials）の扱いになることを説明した。

**9.** 今後の会議予定

ショルティス博士はフェルナンデス氏に対し、次の情報を役員へ配信し、また、UILI ウェブサイトへ掲載することを依頼した。

- 2016 年第 2 回　- 2016 年 10 月 27 日、28 日
- 2017 年第 1 回 – 2017 年 4 月 11 日- skype
- 2017 年第 2 回 – 2017 年 9 月 21 日

**10.** その他（会長承認）

松村博士は、ニューデリーは気候が大変高温多湿のため、WG 会議も、本会議同様、同じホテル内で開催することを勧めると述べた。

**11.** 閉会

ショルティス博士は役員へ出席へのお礼を述べた。

結論と作業計画:

1. *ニューデリー役員会*　**作業**: **事務局**
   - 引き続き、ILAC とインド主催者へプログラムについて問い合わせる
   - 会員へホテル料金とフライト・査証情報を通知する
   - シルバ博士・松村博士から提供された、現地試験所関係者のリストを送る

1. LABMEETING: ILAC ステークホルダー交流会:　**作業**:役員
   - プログラムへの意見を提出: 講演テーマ、演者
   - アデコ氏が、ILAC への招待状を作成する

2. UILI 広報活動　**作業**:
   - 各国試験所協会に宛てた入会案内を作成、配信する（**事務局**）

- 南アフリカからの新規入会を狙って UILI 勧誘書類を配信する（**アデコ氏、事務局**）
- 引き続きコロンビアの協会と連絡をとる（**フェルナンデス博士**）
- ブラジル協会の UILI 加入を目的とした UILI 会長による講演資料をポルトガル語で用意する。（**事務局、アルフレド･モンテス･ニノ博士**）

3. ILP　　作業:
   - JEMCA: 第 10 回 ILP の試料のナイジェリア分について試験所個別に送付する代わりに、4 月末に IPAN へ一括送付する
   - CALIBA、RELACRE に文書類と配信日について確認する　（**事務局**）

4. ISO 17025 WG　　作業:
   - 次回会議の日程とアジェンダを用意する（**アデコ氏、事務局**）
   - JEMCA からの、WG 会議出席者を 決める(**松村博士**)
5. UILI EUROLAB WG　　作業:
   - 次回会議の開催情報を取り寄せ、出席者を決める　（**フェルナンデス博士**）
6. ISO REMCO 委員会　　作業:
   - 4 月末までに ISO 事務局へ提出する年次報告を作成する　（**事務局、松村博士**）

1. 今後会議予定　　作業:
   - 会議開催情報を役員へ配信し、UILI ウェブサイトにも掲載する(**事務局**)

---

# 資　料

議事録原文

# Draft Minutes Governing Board Meeting 2016/01
# Wednesday April 12th, 2016

## PARTICIPANTS

| Association | Board Member | Country | Local Time | Skype |
|---|---|---|---|---|
| VRS | Drs Luc H. A. Scholtis<br>President | Netherlands | 14:00 | *luc_scholtis* |
| AELI | Dr. Manahén Fernandez Alonso<br>Past-President | Spain | 14:00 | *manahen.fernandez1* |
| LATE AELI | Mr. Jordi Oliver-Rodés<br>Second Vice President | Spain | 14:00 | *jordi.oliver.rodes* |
| JEMCA | Dr. Toru Matsumura<br>Treasurer | Japan | 21:00 | *vaio-z21* |
| IPAN | Mrs. Mary-Anne Adeeko<br>Secretary-General | Nigeria | 13:00 | *subomi.adeeko* |
| IPAN | Dr. Femi Oyeridan | Nigeria | 13:00 | *femola971* |
| AELI | D. Jordi Oliver-Rodés | Spain | 14:00 | *jordi.oliver.rodes* |
| Unaffiliated members Southern Hemisphere | D. Alfredo Montes Niño | Brasil | 9:00 | *montesninio* |
| Secretariat | Melissa Fernández Valero<br>Secretary | Spain | 14:00 | *melissafeva* |

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
國際聯盟的獨立實驗室
国際独立研究所連合

### *1. Welcome*

Drs Scholtis welcomed Board members present and he wished to have a very productive meeting.

### *2. Roll call of members and apologies for absence*

Drs Scholtis informed that apologies were received from the following Board Members for not being able to attend this meeting:

- Mrs Marta Sancho – CALIBA
- Mr Gib McIntee – CCIL
- Mr Jan Soers – GEOS

Dr. Alvaro Silva and Mr. Jan Soers sent mails informing that they had meeting at the appointed time but once finish they will tried to contact the meeting.

### *3. Approval of the agenda*

Drs Scholtis explained that the agenda had been sent to all members by the secretariat together with the differnt minutes indicated here below. He asked if is there any other item to add or to modify.

3.1. Review and approval of minutes

3.2. Governing Board Meeting 15/02 held in Buenos Aires on September 16, 2015

3.3. 26th General Assembly held in Buenos Aires on September 17, 2015

3.4. Executive Committee meetings January 26, 2016 and March 29, 2016

He expressed that the minutes of the General Assembly of Buenos Aires have been sent for review even if they must be officialy approved in the next 2017 General Assembly.

The president reviewed one by one the different minutes asking to the participants if there were any comments or proposed changes.

No changes were proposed, so the agenda and the minutes were approved.

3.5. Matters arising from the minutes not otherwise on the agenda

Mrs. Fernández informed that the two matters arising to take actions from the Board meeting of Buenos Aires minutes were the following:

- *To implement the electronic banking:*

  Mrs Fernández said that the application forms and all the required documentation had been sent to the bank and now they are only waiting for the bank confirmation to start using the business online.

- *To make the corresponding change in the bylaws of UILI to have two representatives of unaffiliated members instead of one as follows:*.
  Point 5.6 of the Constitution states the following: "*5.6 The Governing Board shall consist of one delegate for each Member Association, and one ordinary member representing the other ordinary members"* And the Board proposed the following change in this paragraph: "*5.6 The Governing Board shall consist of one delegate for each Member Association, and two ordinary members representing the other ordinary members"*

  Mrs Fernández confirmed that this change was already approved in Buenos Aires General Assembly and made in the Constitution of UILI.

## *4. Treasurer's report*

4.1. Profit/Loss and Balance statements 2015

Dr Matsumura expressed that the financial statements were sent by the secretariat and after reviewing then were already approved.

Dr Scholtis asked to Fernandez if he wanted to add a brief explanation of the financial and he commented the following:

1. The final results of the UILI 2015 Budget gave a loss of around 350 € and it can be summarized as follows :

- Expenses were less than planned in 3500 €
- Income was lower than planned in 4600 €, mainly due to:
  - – less income from the ILP: 1.350 €
  - - Advertising, sponsoring and Workshops: 3.000 € (Indeed we had 1635 € income for workshops: LABMEETING, that we applied Board meeting and workshop expenses)
  - – Less Bank Interests, because we founds not reimbursed: 200 €

2. About UILI General Statement of Accounts as of Dec. 31th 2015 we can summarize:

At the end of 2015 UILI had

- About 63.200 € on its accounts and
- NET ASSETS OF 60.654 €

Drs Scholtis asked if is there any question regarding the accounts and no one asked anything. He thanked Mr Treasurer and Dr Fernández for the explanation and he also expressed his interest in getting positive results in final UILI results this year.

4.2. Bonds reinvestment

Drs Scholtis asked Dr Matsumura if he has any idea about how the assets can be reimbursed.

Dr Matsumura explained that he is not very familiarized with the European investing situation and he asked for advice to the other members.

Drs Scholtis commented that the investments situation in Europe is really bad.

Dr Matsumura said that in some Asian countries it is easy to get a 10 € interest, but there's always risk with the exchange variation with respect to euro.

Drs Scholtis expressed that maybe the best solution at the moment is to have it in cash and also asked for non-risks proposals to the other members. The rest of members agree, so it was decided not to invest the money up to the next meeting.

## *5. Activities for next 2016/02 Governing Board meeting in New Delhi, India*

5.1. Preliminary program, 27th and 28th October 2016 with activities.

5.2. LabMeeting 2016 – Meet and Greet the Stakeholders (ILAC/IAF)

Drs Scholtis informed that a Preliminary program has been produced but we are still waiting for Indian hosts to have all the information regarding the ILAC program and the hotel where is going to take place the event.

He also added that there is not a definitive program for the LabMeeting and they should decide an attractive topic that could be interesting for the Meet and Greet Stakeholders of ILAC/IAF.

Mrs. Fernández explained that she had asked many times the responsible of ILAC about the program of the ILAC meeting but they have answered so far that is not yet ready. She also informed that the Indian hosts have also to confirm which is going to be the hotel of the meeting and the only information that we have is the approximate rates of the rooms and she will send them to al the Board members.

Mrs. Adeeko proposed to produce an invitation letter for ILAC.

Dr Manahén Fernández said that in his opinion in the workshop should be no more than two or three speakers. He proposed as potential subjects one about the role of UILI in the world of laboratories that could be done by Drs Scholtis, another one about the regional associations of laboratories that could be made by Mr. Jose Luis Sánchez and maybe another one about EUROLAB and its relation with UILI that may be could be presented by Dr. Alvaro Silva..

Mrs. Adeeko said that the membership drives should also be a topic to discuss at the event.

Mr. Alfredo Montes at this point asked if is there any suggestion about which ILAC sessions should attend the ULI members.

Drs. Scholtis answered that it would be good to have a speaker of UILI to talk in a plenary section of the ILAC meeting but this speech should be very well prepared.

Mr. Alfredo added that he will be attending the …

Dr Toru expressed that this would be important to start preparing the visa requirements for India. He also added that the climate at the time of meeting is very humid and high temperatures. He also said he is going to New Delhi next month and told Melissa that if he could help in anything related with the organization of meeting do not hesitate to ask him.

## 6. *Membership recruitment*

Mrs. Fernández informed that she together with the President, the Secretary General and other Board members, are working hard to get new members for our association.

6.1. Activities for the promotion and expansion of UILI

Mrs. Fernández expressed that the next action regarding the recruitment of new members will be to prepare and send an official invitation for all the national associations that they have in their database, introducing UILI and sending all the recruitment package: brochure, what is UILI and application forms.

6.2. Brochures and forms updated

Mrs. Fernández informed that the brochures and applications forms were revised by the President and the Secretary General and updated.

6.3. List of Laboratory Associations

Mrs. Fernández said that Mr President and Mrs. Nadine Bouman have prepared and included in UILI's website a list of national associations of laboratories worldwide.

6.4. List of 175 Indian laboratories

Mrs. Fernández commented that she has also been preparing a contact list of Indian laboratories so that they can get participants enough for the October's LabMeeting.

6.5. AOIL – Association of Indian Laboratories

Mrs. Fernández informed that she has contacted several people in the AOIL informing about UILI's October meeting in New Delhi. She also said that Dr. Silva sent her more contact people in India which is very useful to prepare the meeting. She added that also Dr Matsumura has been trying to contact an Indian laboratory friend to get some help in the LabMeeting preparation.

6.6. National Laboratory Association NLA South Africa

Mrs. Fernández commented that Mrs. Adeeko has been also working very hard sending UILI's recruitment package to get new members in South Africa.

6.7. South America:

Mrs. Fernández added that both, Mr. Alfredo Montes-Niño and Dr. Manahén Fernández have been also working in searching new association in South America (Brazil and Colombia). She

said that Dr. Fernandez has had several Skype talks with the responsible of an Association from Colombia and they are waiting for the response.

Mr. Alfredo explained that he has found three Brazilian associations: toxicology, environmental and pharmaceutical laboratories and he is also searching the way of creating an Association of Food and Agricultural laboratories and UILI may help. He said that he just asked Mrs. Fernández to prepare an official presentation on behalf of the President to invite these Associations to become members of UILI. He said that the presentation should be made in Portuguese and added that he could made the translation but maybe someone should review it.

Dr. Manahén Fernandez said that Alvaro was good on that and he had offered to do it. Before.

Drs Scholtis thanked Mr Alfredo and Dr. Fernández for their help in this important issue.

### *7. ILP Committee, update ILP Program 2016-2017*

Dr. Matsumura said that there were good news, he informed that JEMCA had collected 140 laboratories for 10th ILP. He also commented that they are now testing for the stability and samples could be sent in the end of April.

Drs Scholtis added that they are still waiting for the documentation from CALIBA and RELACRE

Mrs. Fernández informed that the number of participants from UILI so far registered in each ILP program are as follows:

- 2016 = 25 total.
  - 10th – 7
  - 11th – 9
  - 12th – 1
  - 13th – 7
- 2017 = 13 total.
  - 14th – 4
  - 15th – 3
  - 16th – 0
  - 17th – 6

Mrs Adeeko proposed to go on with JEMCA ILP given that they are ready to send the sampes she commented that they should not wait to the other providers.

Mrs Fernandez asked to Dr Matsumura how they were going to send the samples to the Association or directly to each laboratory participant

Mrs. Adeeko said that if the sampes are sent to the association given than later they have to be send to laboratories in different regions it takes more time in reaching samples to participants..

Dr Matsumura explained that they prefer to send the samples to the association given that the delivery for individual company has a very high cost, he said that costs are almost the same for one sample thant for 5 samples to the same country so it is better if the association on each country can receive and distribute them to the different companies.

Mrs. Adeeko then agreed with the delivery of the samples to IPAN instead of each laboratory individually.

Drs Scholtis proposed that in the future they should think in having of a center in Europe to distribute samples.

## *8. External representation and Working Groups*

8.1. ILAC – LLC WG

- ISO/CASCO - Report from ISO 17025 WG

Mrs. Adeeko informed that they have in mind to have next meeting of the WG at 29 of April but given that Mr McIntee that is the UILI representative in W. G. 44, said he was not able to attend on that day, our secretary Mrs. Fernández sent a mail to him asking for other available dates

She commented that the issue of samples has been resolved in the last WG44 and the laboratory activity has been redefined to cover the sampling issue.

Drs Scholtis added that he thought that what happened in last W.G. 44 meeting wasn't good example or true UILI representation because Mr McIntee presented a different position in the meeting that the one agreed by UILI with EUROLAB.

Mrs. Adeeko informed that the next WG44 meeting is in September and Dr. Yasoshima could be attending.

Dr Matsumura added that Dr. Yasoshima is having a maternity leave and won't be able to attend but he is looking for other person member of JEMCA to attend.

Mrs Adeeko proposed Mrs. Fernández to me the contact person for ISO.

- EUROLAB - Report from UILI-EUROLAB WG

Drs Scholtis asked Dr Fernández if he could attend next meeting.

Dr Fernández responded that he would ask all the information to Mr. Sánchez about this meeting and he will inform him if he can attend.

- ISO/REMCO

Drs Scholtis informed that the new liaison status between UILI and ISO REMCO is very good news for and he also commented that Mr. Alfredo will represent UILI in that committee and he will attend to next meeting in Russia.

Dr Matsumura informed that it will be created a new committee for REMCO in JEMCA in May and some representatives will try to attend also the REMCO Ekaterinburg meeting. He also commented how difficult is for Japanese people to get Russian visa.

D. Alfredo said he has Argentinian Nationality and they do not need visa.

Mrs. Fernández informed that REMCO has requested to fill in a report that should be sent to REMCO before the end of April. She added that there is technical information that she is not able to fill.

Drs Scholtis asked Dr Matsumura if he could have a look document and help on this.

Dr Matsumura agreed to check the document and send a copy of the standard applied and help to Mrs. Fernández.

Mr. Alfredo added that he didn't know that UILI has it own reference materials, he said that he thinks that the standard applicable for PT is different from that of a manufacturer of reference materials

Drs. Scholtis explained Mr Alfredo that the samples produced by the different ILP providers of UILI could be considered as reference materials, once they are analyzed.

### *9. Dates and venues upcoming meetings*

Drs Scholtis asked Mrs. Fernández to distribute this information by e-mail to all the Board Members and also to upload it on UILI's website.

- 2016/02- 27th and 28th October 2016
- 2017/01 - April 11, 2017 - skype
- 2017/02 - September 21, 2017

### *10. Any other business properly approved by the president*

Dr. Matsumura commented that given that New Delhi's temperature is so high and there is a considerable difficulty for walking at the streets it should be convenient in having the meals and W.G. meetings in the same hotel of the meeting.

### *11. Adjournment*

Drs Scholtis thanks all the board members for their participation in the meeting.

**CONCLUSIONS AND ACTIONS:**

1. *Board meeting in New Delhi:* **ACTIONS**: ***Melissa***
   - *Keep asking to both ILAC and Indian Organizers for the program.*
   - *Send information to members about the hotel rates and advice to be reserving flights and apply for visa.*
   - *To send the actual list of laboratories and the contacts sent for Dr Silva to Dr Matsumura*
2. *LABMEETING: Meet and Greet the Stakeholders:* **ACTIONS**: Board members

- *To propose ideas for the program: subjects and speakers..*
- *Mrs. Adeeko proposed to produce an invitation letter for ILAC.*

3. *ACTIVITIES FOR THE PROMOTION AND EXPANSION OF UILI* **ACTIONS**:

- *To prepare and send an official invitation for all the national associations* ***( Melissa)***
- *To send UILI's recruitment package to get new members in South Africa.* ***(Mary-Anne and Melissa)***
- *To follow contacts with Association from Colombia.* ***(Dr. Fernandez)***
- *To prepare an official presentation in Portuguese language, on behalf of the President to invite Brazilian Associations to become members of UILI.* ***(Melissa/ D. Alfredo)***

4. *ACTIVITIES FOR THE ILP* **ACTIONS**:

- *JEMCA: delivery of the samples of 10th ILP at the end of April directly to IPAN instead of each laboratory individually.*
- *Ask to CALIBA and RELACRE for the additional documents and delivery dates.* ***(/Melissa)***

5. *ACTIVITIES FOR THE ISO 17025 WG* **ACTIONS**:

- *To set date and send agenda for the next meeting* ***(Mrs. Adeeko and Melissa)***
- *To find other person member of JEMCA to attend to the meetings* ***(Dr Matsumura)***

6. *ACTIVITIES FOR THE UILI EUROLAB WG* **ACTIONS**:

- *To find information about next meeting and define who will attend.* ***(Dr. Fernández)***

7. *ACTIVITIES FOR THE ISO REMCO COMMITTEE* **ACTIONS**:

- *To fill the report for ISO before end of April.* ***(Melissa /Dr Matsumura)***

12. *DATES AND VENUES UPCOMING MEETINGS* **ACTIONS**:

- *To distribute this information by e-mail to all the Board Members and also to* upload it on UILI's website. ***(/Melissa)***

資料A

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

# Governing Board Meeting 2016/01
# of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants

## Wednesday April 12th, 2016

## Skype Teleconference commencing at

| Association | Board Member | Country | Loca Time | Skype |
|---|---|---|---|---|
| VRS | Drs Luc H. A. Scholtis<br>President | Netherlands | 14:00 | luc_scholtis |
| AELI | Dr. Manahén Fernandez Alonso<br>Past-President | Spain | 14:00 | manahen.fernandez1 |
| RELACRE | Dr. Álvaro Silva Ribeiro<br>First Vice President | Portugal | 13:00 | relacre |
| AELI | Mr. Jordi Oliver-Rodés<br>Second Vice President | Spain | 14:00 | jordi.oliver.rodes |
| JEMCA | Dr. Toru Matsumura<br>Treasurer | Japan | 21:00 | vaio-z21 |
| IPAN | Mrs. Mary-Anne Adeeko<br>Secretary-General | Nigeria | 13:00 | subomi.adeeko |
| CALIBA | Dr. Horacio Denari | Argentina | 9:00 | Horadenari |
| CALIBA | Mrs. Marta Sancho | Argentina | 9:00 | m_sancho |
| CCIL | Mr. Gib McIntee | Canada | 08:00 | gilbert.mcintee |
| CCIL | Mr. Derwyn Reuber | Canada | 08:00 | |
| IPAN | Dr. Femi Oyeridan | Nigeria | 13:00 | femola971 |
| JEMCA | Mr. Masahiro Tanaka | Japan | 21:00 | |
| VRS | Drs. Hans J.H.F. van der Wart | Netherlands | 14:00 | hansvdwart |
| RELACRE | Dr. José Roseiro | Portugal | 13:00 | relacre |
| AELI | D. Jordi Oliver-Rodés | Spain | 14:00 | jordi.oliver.rodes |
| Unaffiliated members Northern Hemisphere | Ir. Jan Soers | Belgium | 14:00 | jan.soers |
| Unaffiliated members Southern Hemisphere | D. Alfredo Montes Niño | Brasil | 9:00 | montesninio |
| Secretariat | Melissa Fernández Valero<br>Secretary | Spain | 14:00 | melissafeva |

# AGENDA

## Governing Board Meeting 2016/01
## Wednesday April 12th, 2016

1. Welcome
2. Roll call of members and apologies for absence
3. Approval of the agenda
   - 3.1. Review and approval of minutes
   - 3.2. Governing Board Meeting 15/02 held in Buenos Aires on September 16, 2015
   - 3.3. 26th General Assembly held in Buenos Aires on September 17, 2015
   - 3.4. Executive Committee meetings January 26, 2016 and March 29, 2016
   - 3.5. Matters arising from the minutes not otherwise on the agenda
4. Treasurer's report
   - 4.1. Profit/Loss and Balance statements 2015
   - 4.2. Bonds reinvestment
5. Activities for next 2016/02 Governing Board meeting in New Delhi, India
   - 5.1. Preliminary program, 27th and 28th October 2016 with activities.
   - 5.2. LabMeeting 2016 – Meet and Greet the Stakeholders (ILAC/IAF)
6. Membership recruitment
   - 6.1. Activities for the promotion and expansion of UILI, Documentation updated
   - 6.2. List of Laboratory Associations
   - 6.3. List of 175 Indian laboratories
   - 6.4. AOIL – Association of Indian Laboratories, India
   - 6.5. NLA – National Laboratory Association, South Africa
   - 6.6. ALPIC – Asociacion de Laboratorios Privados Independientes de Colombia
7. ILP Committee, update ILP Program 2016-2017
8. External representation and Working Groups
   - 8.1. ILAC – LLC WG - Frankfurt
   - 8.2. ISO/CASCO - Report from ISO 17025 WG
   - 8.3. EUROLAB - Report from UILI-EUROLAB WG

8.4. ISO/REMCO, Jekaterinenburg

9. Dates and venues upcoming meetings

9.1. 2017/01 - April 11, 2017 - skype

9.2. 2017/02 - September 21, 2017

10. Any other business properly approved by the president

11. Adjournment

資料B

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT L
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

**Governing Board Meeting 2015/02 of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants**
**Wednesday, September 16, 2015, CALIBA´s headquarters Av. de Mayo 981, 2º Piso, Of. 220 (C1084AAE), Buenos Aires, Argentina**

**Commencing at 14:00 hours**

1. **Welcome and roll call of members**

MEMBERS PRESENT:

Dr. Manahén Fernandez-Alonso, President

Drs. Luc Scholtis – Secretary-General

Dr. Toru Matsumura- UILI Treasurer

Dr. Akihisa Tabata – from Idea in representation of Dr. Hideo Tabata, past president

Dr. Álvaro Silva Ribeiro – President of RELACRE

Dr. Horacio Denari - President of Caliba

Mrs. Marta Sancho - Caliba´s Secretary in office

INVITED GUESTS:

Mrs. Joseani Octaviani from PA LABORATORIO DE AGUAS de Brazil.

Mr. Alfredo Montes Niño, President of MICROBIOTICOS GROUP.

Dr. Joge Alves, from MICROBIÓTICOS Uruguay.

Dr. Fernández welcomes Board members present and thanks on behalf of UILI to dr. Horacio Denari, President of CALIBA the Association of independent laboratories of Argentina for their continuous support in the organization of the meeting and all the events in Buenos Aires.

He then welcomes to the meeting to the invited guests.

He informs that at this meeting there are several important issues to deal with and make decisions and given the limitation of time, he asks to please treat topics with the necessary time but as quickly as possible.

He proceeds to next point on agenda.

**2. Apologies for absence (if any)**

Apologies from absence have been received from:

Dr. Hideo Tabata, our past president, from idea, japan

Mr. Gib McIntee our vice president, , from CCIL, Canada

Jordi Oliver Rodés President of AELI, Spain

Drs. Hans van der Vaart President of VRS from Nederland.

Dr. Oyediran President of IPAN, the association from Nigeria

Mrs. Mary-Anne Adeeko, from IPAN, Nigeria

He expresses that also UILI´s secretary, Melissa, wants to apologize for not being able to attend the meeting given that his husband is working abroad for several weeks and there is none to look for her baby during this meeting. He explains that she had already made reservations for flight and hotel but she had been able to cancel them without any charge.

**3. Approval of agenda**

Dr Fernández explains that the agenda has been sent to all members by the secretariat. He asks if is there any other item to add or to modify.

No changes are proposed, so the agenda is approved.

**4. President's presentation:**

Dr Fernández informs that during the time from the last meeting to now they have been implementing activities to achieve the goals proposed in the strategic plan for UILI that he presented in Barcelona´s assembly.

He says that in the last four years that he has been president he tried with varying success to impulse a positive change in the disastrous trend that our association had inherited from ACIL´s Secretariat. During first term 2012-2013 he could not have a full commitment and dedication to work for UILI because he had other obligations to his former company and neither the former secretariat helped much in implementing proposed growth goals for UILI, but in this last term, 2014-2015 he could dedicate a considerable time to UILI and he has been able to work very close with the secretary Melissa and also they had the continuous collaboration of Labwing therefore it has been possible to get good results in the management and organization of UILI.

Given that there were several problems with the internet in CALIBA's office, Dr Fernández couldn't present the Prezi prepared by Melissa to summarize the results of the plan, therefore

he presents just the slides in an alternative document also prepared by the secretary, Melissa. Here is the resume of its 2014/15 term achievements:

**MEMBERSHIP:**

1. We have created a world-wide lab list with thousands of laboratories

2. We have spread information about what is UILI and the benefits for its members in English and Spanish

3. We got the following new members:

- 3 associations:
  - RELACRE (Portugal) 2012/13
  - IPAN (Nigeria)
  - CALIBA (Argentina)
- 5 unaffiliated labs:
  - EKOSMYRNA
  - NESTEC
  - FRALS TESTING
  - MICROBIÓTICOS URUGUAY
  - MICROBIÓTICOS PARAGUAY
  - MICROBIÓTICOS BRASIL
  - PA LABORATORIO DE AGUAS

**ECONOMY:**

- INCOME:

1. UILI has increased the real income from membership.

2. UILI has got income also from sponsors for Labmeeting's events

3. UILI has reduced income from ILP ⬇

4. The bank interest of bonds were reduced ⬇

- EXPENSES:

1. UILI has reduced Secretariat's expenses

2. UILI has reduced Board Meeting organization expenses

- ACCOUNTING

1. UILI has improved UILI's net balance of results

2. UILI improved accounting statements of UILI with real updated information

**INTERNATIONAL RELASHIONSHIPS:**

1. The MOU with EUROLAB has been implemented

2. UILI has more presence in international associations

- UILI - EUROLAB MOU:
    - Joint positions for ISO 17025 revision
    - Creation of a world-wide list of labs
- ISO / CASCO
    - It has been created an internal WG for the revision of the ISO 17025
    - Two representatives of UILI are working in ISO W.G. 44. in Geneva
- ILAC
    - UILI keeps its membership of ILAC and its position in LLC

**INTERNAL ORGANIZATION:**

1. UILI has already candidates for unaffiliated Board position

2. Board members do actively participate in UILI's W.G.

3. 17025, ILP, UILI-EUROLAB W.G. have been created

4. No headquarter of UILI yet

**UILI'S INTERNAL ORGANIZATION:**

1. WEB

2. Newsletter

3. Working Groups

4. ILP

5. LABMEETINGS

**SEE HERE THE COMPLETE PREZI PRESENTATION**

He adds that despite these progress there are still many tasks to conclude and it is necessary to continue encouraging these activities so that ULI has an increasingly recognized role as the International Association representing Independent laboratories worldwide.

**5. Review and approval of minutes from the Governing Board Meeting 15/01 held by skype teleconference on April 15, 2015**

Dr Fernández tells that the minutes were sent in time by Melissa several months ago and again few days ago to Board members asking for its revision. He also asks if is there any further comments to them.

He says that they only received comments from JEMCA and the changes were already been added.

Nobody else adds anything therefore the minutes are approved

**6. Review of action items and matters arising from the minutes not otherwise on the agenda**

Follow up of proposal for linking JEMCA's website with the websites of the companies of different Board Members, Dr Fernández asks to Drs Scholtis if anything has been done regarding this item.

At this moment Drs Scholtis and Dr Matsumura start discussing the best way to implement this proposal but given the time restriction Dr Fernández asks them if possible to continue discussing this issue between them at other time to not delay the meeting.

Drs Scholtis answers that it is necessary to concrete this proposal because this will continue being an unfinished item. Then Drs Scholtis and Dr Matsumura continue with their discussion until they finally set the points for the procedure to link JEMCA's and UILI's website.

**7. Secretariat's report:**

Dr Fernández says that this report was mainly included in the slides that he had passed on his presentation but he mentioned the following points as most important made in secretariat in the last 6 months:

a. Membership recruitment effort for both affiliated and unaffiliated:

He explains that Melissa has continued with the normal activities of the secretariat and has spent a considerable time to continue building the list of laboratories. He also adds that it has been sent information about UILI to a group of new laboratories from several Latin-American countries.

He highlights that this activity is very important to UILI and it is necessary to devote special attention in their development especially as there seems to be interest from UILI in several countries.

He says that other activities that have been attended by secretariat in the last 6 months are:

b. 9 th ILP follow up.

c. Buenos Aires meetings organization: The organization and promotion of the Labmeeting has taken much of secretariat´s time during the last months

d. W.G. follow up and support: the secretariat has consistently supported all the working groups, 17025, UILI-Eurolab... on organizing skype meetings, preparing agendas, minutes and sharing information

e. Treasury: bookkeeping, invoicing, follow up of membership unpaid dues…has been currently done. He informs that in board member's folder is included the list with the information of invoices payments from membership.

**8. Treasurer's report:**

The Horn. Treasurer, Dr Matsumura presents the financial statements and he says that the 2014 statements and accounts have been audited and were found correct.

8.1 Financial statements to 25th August 2015

Dr Fernández presents this statement explaining that the projection is to get a positive balance this year.

8.2 Proposal of the budget for 2016/2017:

Dr Fernández presents a proposal for the budgets for the 2016 and 2017, to be presented to the approval in the General Assembly.

Drs Scholtis says that the numbers seemed very optimistic and that he felt that the amount of € 19 600 projected for membership of the Associations 2016 seemed too high and also the total income provided for the two years.

Dr Fernández replies that the amount € 19,600 to member associations is real and not a projection.

Dr Matsumura says that the sum of the inputs for membership is wrong and Dr Fernandez verifies it and applies corrections.

Dr Scholtis reiterates that the budget is better to be conservative rather than making corrections later.

Then Dr Fernández, proposes to reduce 2000 € applied for sponsors and finally the proposed budgets were approved as follows:

5 - UILI 2016-17 MODIFIED.xls

8.3 Proposals for change in Bank of UILI accounts

Dr Fernandez says that this issue has been discussed several times on board but has not resolved the legal implications it has. He explains that in his experience:

- Very slow answer to any request.
- Very expensive bank charges.
- Not proper investment advice

Drs Scholtis adds that now in Europe banks cannot give advice about investments. He explains that it is necessary to have UILI's deeds of constitution if they want to change the bank but in this moment they don't have this documents. He also says that it could be generated if necessary. He says that a good solutions to improve bank activity is to start using electronic banking.

Dr Fernández agrees with Drs Scholtis and it is decided to continue with the Danske Bank accounts and to implement the electronic banking.

**9. Secretary General's report**

Drs Scholtis says that he had prepared a presentation with all the activities carried out from the General Secretary but given that there were problems with internet in CALIBA's office he informs that he would do it on the General Assembly.

**10. Activities for General Assembly and Labmeeting in Buenos Aires Argentina:**

10.1 Program and logistic of the activities in Buenos Aires

BUENOS AIRES BOARDMEETING AG

Dr Fernández says that at this point with the help of Marta, CALIBA´s secretary he is going to review all the activities included in the program for the Buenos Aires Meeting. So they

reviewed the logistic for each one of the activities: Gen. Ass., LABMEETING, Dinners, LABTOUR, Social events…

10.2 General Assembly

10.2.1. Changes in Board positions:

Dr Fernández informs that UILI's constitution states on its point 5.2.2 The General Assembly "elects, upon the recommendation of the Governing Board, a President from amongst the members of the Governing Board who will serve until the next General Assembly and shall not normally hold office for more than two consecutive periods"

"Successive Presidents shall not be ordinary association members of the same laboratory industry association"

Dr Fernández explains that one of the most important items to be discussed at this meeting is to choose candidates for different board positions to present them to the General Assembly the day after to be voted.

Dr Fernández tells that in the over 20 years he has been involved on the board the president has stayed two terms, with the exception of Dr Tabata who stayed 3 years. He then says that according to UILI's bylaws they should propose to the General Assembly a board member that do not belongs to AELI, the Spanish Association. He expresses that in his opinion there are several board members with enough experience to be elected for president's position:

Dr Alvaro Silva
Dr Toru Matsumura
Drs Luc Scholtis
Mr. Gib McIntee

Then Dr Fernández asks one by one their opinion:

Dr Álvaro Silva says that given that he is new EUROLAB's president he consider it not appropriate to be also UILI's president at this moment but he agrees to make efforts since his position to continue improving UILI-EUROLAB MOU.

Dr Matsumura answers that it would be an honour for him to be UILI's new president but he also adds that this is not a good moment to assume this position given that he is very implied in JEMCA's activities as vice president.

Drs Scholtis tells that this item had already been talked and discussed among Dr Fernández and the potential candidates. He also says that he prefers to go on being UILI's Secretary General but given that Dr Fernández doesn't want to continue and the other candidates neither are able at this moment, he agrees to assume UILI's

presidency with the condition of nominating people to replace him once he finish his term.

At this point Dr Fernández submit to consideration of the board the following proposal for the board positions:

- Chair: Dr Luc Scholtis (VRS, The Netherlands)
- Past Presidency: Dr Manahén Fernández (Ecosur, Spain)
- Vice Presidency: Dr Álvaro Silva Ribeiro (RELACRE, Portugal) and Mr. Jordi Oliver Rodés (AELI, Spain)
- Secretary General: Mrs. Mary-Anne Adeeko (IPAN, Nigeria)
- Treasurer: Dr Toru Matsumura (JEMCA, Japan)

The proposal is moved, seconded and approved by all the board members:

For the position of unaffiliated member's representative Dr Fernández says that two candidacies were received and sent to all the unaffiliated labs for election. Several answers from the labs were received and in any case they let the election to Governing Board decision.

At this point, Dr Fernández introduces the two candidates: Mr Jean Soers and Dr Alfredo Montes Niño. He expresses that Mr Soers is a very well-known person for the board members because he was part of it as representative of UPLEAR, the Belgian laboratory association but two years ago the association disappeared and he let his position at the board, continuing his lab GEOS as unaffiliated member of UILI. He then introduces Dr Alfredo Montes Niño informing that his CV was sent to all the board members and from it can be concluded that he has a great experience in the laboratory business in South America and Dr Fernández also says that he has talked several with him and he shows much interest for building laboratory associations.

Drs Scholtis says that up to now UILI Constitution avoided only one person as representative of unaffiliated members. However he had discussed with Dr Fernández the possibility of nominating more than one representative from different world places. Therefore he proposes to present the two candidates at the General Assembly as representatives, then making the corresponding change in the bylaws of UILI at that moment.

Drs Scholtis proposal was approved.

**11. Membership recruitment program**

11.1 New memberships
11.2 List of Laboratories
11.3 Activities for the promotion and expansion of UILI

Dr Fernández informs that this point was already dealt in the report of the secretariat.

**12. UILI – 9th Inter Laboratory Practice Up-date: (brief information) (Dr. Matsumura)**

Dr Fernández says that this point will be extensively dealt in the General Assembly and in the UILI ILP Working Group meeting on Friday.

**13. Reports on external representation**

13.1 ILAC/IAF (International Laboratory Accreditation Cooperation) (Dr. Matsumura)
13.2 ISO/CASCO (International Organization for Standardization).
13.2.1 Report from 17025 UILI internal W.G. (Mrs. Adeeko)
(This point is extensively dealt in the UILI ILP Working Group meeting on Friday)
13.3 Report from UILI-EUROLAB W.G. (Dr. Silva)

Dr Fernández says that this point will be extensively dealt in the General Assembly and in the corresponding Working Groups meetings on Friday.

**14. Report from member associations and the unaffiliated ordinary members' representative.**

14.1 JEMCA (Japan)
14.2 AELI (Spain)
14.3 CCIL (Canada)
14.4 VRS (The Netherlands)
14.5 RELACRE (Portugal)
14.6 CALIBA (Argentina)
14.7 IPAN (Nigeria)

Dr Fernández says that given the length of these reports the will be uploaded on the website and a short presentation will be given at the General Assembly.

**15. Dates and venues upcoming 2016/17 Governing Board Meetings**

16/01: Skype teleconference meeting – April 2016
16/02: Board meeting – September/ October 2016 in Canada or The Netherlands. Drs Scholtis will talk with Dr McIntee about it.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

**16. Other business properly approved by the president**

Dr Fernández says no further business are to be treated.

**17. Adjournment**

Dr Fernández thanks all the board members for their participation in the meeting.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT L
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料C

**26th General Assembly of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants**
**Thursday September 17th, 2015, Auditorio del IRAM, Buenos Aires, Argentina**
**Commencing at 8:30AM**

**1.0 To approve the notice convening the meeting**

Dr Fernández informs that the notice for this General Assembly was uploaded on the web and also sent in the last newsletter.

**2.0 Welcome and roll call of members**

**MEMBERS PRESENT:**

**BOARD MEMBERS**:

Dr Manahén Fernandez-Alonso, President

Drs Luc Scholtis – Secretary-General

Dr Toru Matsumura- UILI Treasurer

Dr Akihisa Tabata – from Idea in representation of Dr Hideo Tabata, past president

Dr Álvaro Silva Ribeiro – President of RELACRE

Dr Horacio Denari - President of Caliba

**OTHER UILI MEMBERS:**

Mrs. Joseani Octaviani from PA LABORATORIO DE AGUAS de Brazil

Mr. Alfredo Montes Niño, President of MICROBIOTICOS GROUP

Dr Jorge Alves, from MICROBIÓTICOS Uruguay

Several members of CALIBA, the Argentinian association

Mrs. Marta Sancho - Caliba´s Secretary in office

Dr Fernández welcomes members present and thanks on behalf of UILI to Dr Horacio Denari, President of CALIBA the Association of independent laboratories of Argentina for their continuous support in the organization of the meeting and all the events in Buenos Aires.

He proceeds to next point on agenda.

**3.0 Apologies for absence (if any)**

Apologies from absence have been received from:

- Dr Hideo Tabata, our past president, from IDEA, Japan.
- Mr. Gib McIntee our vice president, from CCIL, Canada.
- Jordi Oliver Rodés President of AELI, Spain.
- Drs Hans van der Wart President of VRS. The Netherlands.
- Dr Oyediran President of IPAN, the association from Nigeria.
- Mrs. Mary-Anne Adeeko, from IPAN, Nigeria

He expresses that also UILI´s secretary, Melissa, wants to apologize for not being able to attend the meeting.

**4.0 Introduction of members and guests**

Dr Fernández asks each attendee to present himself and also inform the company where they come from.

**5.0 Approval of the agenda**

Dr Fernández explains that the agenda has been sent to all members by the secretary. He asks if is there any other item to add or to modify.

No changes are proposed, so the agenda is approved.

**6.0 To approve the minutes of the 25th General Assembly held on November 29th, 2013 at Majestic Hotel & Spa, Barcelona, Spain**

Dr Fernández informs that the minutes of the 25th General Assembly of UILI held in Barcelona on 2013 were sent by e-mail by the secretary and no comments were received. He asks if is there any other item to add or to modify.

No changes are proposed, so minutes are approved.

**7.0 Matters arising from the previous General Assembly meeting**

Dr Fernández comments that two years ago in Barcelona it was informed that the Governing Board was thinking in hiring a lawyer since Paris' meeting to solve the controversy had with ACIL. At that 24th General Assembly, Mr. McIntee suggested that he would contact the responsible people from ACIL and

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

discuss directly with them but Dr Fernández also expresses that unfortunately Mr. McIntee is not here today to inform about this issue.

**8.0 To receive the report of the 13th UILI President, Dr. M. Fernandez-Alonso**

Dr Fernández informs that during the time from the last meeting to now they have been implementing activities to achieve the goals proposed in the strategic plan for UILI that he presented in Barcelona´s assembly.

He says that in the last four years that he has been president he tried with varying success to impulse a positive change in the disastrous trend that our association had inherited from ACIL´s Secretariat. During first term 2012-2013 he could not have a full commitment and dedication to work for UILI because he had other obligations to his former company and neither the former secretariat helped much in implementing proposed growth goals for UILI, but in this last term, 2014-2015 he could dedicate a considerable time to UILI and he has been able to work very close with the secretary Melissa and also they had the continuous collaboration of Labwing therefore it has been possible to get good results in the management and organization of UILI.

Given that there were several problems with the internet in CALIBA's office, Dr Fernández couldn't present the Prezi prepared by Melissa to summarize the results of the plan, therefore he presents just the slides in an alternative document also prepared by the secretary, Melissa. Here is the resume of its 2014/15 term achievements:

**MEMBERSHIP:**

1. We have created a world-wide lab list with thousands of laboratories

2. We have spread information about what is UILI and the benefits for its members in English and Spanish

3. We got the following new members:

- 3 associations:
    - RELACRE (Portugal) 2012/13
    - IPAN (Nigeria)
    - CALIBA (Argentina)
- 5 unaffiliated labs:
    - EKOSMYRNA
    - NESTEC
    - FRALS TESTING
    - MICROBIÓTICOS URUGUAY

- MICROBIÓTICOS PARAGUAY
- MICROBIÓTICOS BRASIL
- PA LABORATORIO DE AGUAS

**ECONOMY:**

- INCOME:

1. UILI has increased the real income from membership.

2. UILI has got income also from sponsors for Labmeeting's events

3. UILI has reduced income from ILP ⬇

4. The bank interest of bonds were reduced ⬇

- EXPENSES:

1. UILI has reduced Secretariat's expenses

2. UILI has reduced Board Meeting organization expenses

- ACCOUNTING

1. UILI has improved UILI's net balance of results

2. UILI improved accounting statements of UILI with real updated information

**INTERNATIONAL RELASHIONSHIPS:**

1. The MOU with EUROLAB has been implemented

2. UILI has more presence in international associations

- UILI - EUROLAB MOU:
  - Joint positions for ISO 17025 revision
  - Creation of a world-wide list of labs
- ISO / CASCO
  - It has been created an internal WG for the revision of the ISO 17025
  - Two representatives of UILI are working in ISO W.G. 44. in Geneva
- ILAC
  - UILI keeps its membership of ILAC and its position in LLC

**INTERNAL ORGANIZATION:**

1. UILI has already candidates for unaffiliated Board position

2. Board members do actively participate in UILI's W.G.

3. 17025, ILP, UILI-EUROLAB W.G. have been created

4. No headquarter of UILI yet

**UILI'S INTERNAL ORGANIZATION:**

1. WEB

2. Newsletter

3. Working Groups

4. ILP

5. LABMEETINGS

**SEE HERE THE COMPLETE PREZI PRESENTATION**

**9.0 To receive the report of the Hon Treasurer, Dr. Toru Matsumura**

The Hon. Treasurer, Dr Matsumura presents the financial statements and he says that the 2014 statements and accounts have been audited and were found correct.

Then he presents the following financial reports:

**9.1 To receive the financial reports of December 31th, 2013 and December 31th, 2014**

UILI 2013- 2014 Budget (FINAL).xls

**9.2 To receive the budget for 2016/2017 and to set the subscription rates for 2016/2017**

5 - UILI 2016-17 MODIFIED.xls

The budgets were presented and approved.

There is no discussion about the membership fees for 2016/17 term.

**10.0 To receive the report of the Secretary-General, Drs Luc Scholtis**

The Secretary General, Drs Luc Scholtis makes a presentation of all the activities carried out by him in 2014/15 term. The presentation is uploaded on the website.

Dr. Fernández thanks Drs Scholtis for all the work done by the secretary and also for his continuous support and advice to the presidency.

**11.0 To announce the result of the election of the unaffiliated ordinary members' representative on the UILI Governing Board**

For the position of unaffiliated member's representative Dr Fernández says that two candidacies were received and sent to all the unaffiliated labs for election. Several answers from the labs were received and in any case they let the election to Governing Board decision.

Dr Fernández comments that during the Board Meeting held the day before they discussed about this point and he wants to present a suggestion to the General Assembly to approve a modification of the Constitution so that there can be more than one representative of unaffiliated members coming from different regions. Then Dr Fernández asks Drs Scholtis to describe the right necessary change in the Constitution to be submit it for approval in this General Assembly.

Drs Scholtis explains that in point 5.6 of the Constitution states the following for the election of the unaffiliated ordinary members' representative: *"5.6 The Governing Board shall consist of one delegate for each Member Association, and one ordinary member representing the other ordinary members"* And the Board proposes the following change in this paragraph: *"5.6 The Governing Board shall consist of one delegate for each Member Association, and two ordinary members representing the other ordinary members"*

Drs Scholtis moved the motion and it was approved by all the members present at the General Assembly.

At this point, Dr Fernández confirms that the two representatives elected by the Governing Board for this position are the following:

- Mr. Jean Soers – form GEOS, Belgium
- Dr Alfredo Montes Niño – from Microbióticos Group, Brazil, Paraguay and Uruguay

Once completed and approved by the Assembly the proposed change in the constitution the election of the two candidates is confirmed.

**12.0 Election of officers of the Governing Board as presented for election by the Governing Board to the 25th General Assembly**

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

At this point Dr Fernández submit to consideration of the board the following proposal for the board positions:

- Chair: Dr Luc Scholtis (VRS, The Netherlands)
- Past Presidency: Dr Manahén Fernández (Ecosur, Spain)
- Vice Presidency: Dr Álvaro Silva Ribeiro (RELACRE, Portugal) and Mr. Jordi Oliver Rodés (AELI, Spain)
- Secretary General: Mrs. Mary-Anne Adeeko (IPAN, Nigeria)
- Treasurer: Dr Toru Matsumura (JEMCA, Japan)

With no objections to the proposal this is moved, seconded and approved by all the members.

Dr Fernández congratulates the new President and all the new charges of the Board.

The elected president, Drs Scholtis, then thanks to the assistants for his election and says that he is prepared to bring the Organization one step forward, he says that UILI is now in the right track where we can grow UILI further and we have to be sure that UILI allows all the community of laboratories to be there and also that we have to deliver added value to the members he says that is needed a program of added value and he has some thoughts about that he will present these thoughts later today at the symposium.

Then he asks to the G. A. to add a point to the agenda that he had not discussed with any one included the president, he asks permission for the following: he says that Dr Fernandez in the last years of his presidency had made a tremendous well job, he has changed the face of the Organization in a way that for him has been very impressive and he proposes as Secretary General of UILI to offer in the next General Assembly, the Honorary membership to Dr Manahén Fernández Alonso for his work for UILI. Then he asks a motion for it

The proposal is moved and approved.

Dr Fernández thanks to Drs Scholtis and all the members present for this new honour received from UILI, that just to be UILI President was one of greatest honourable positions that he ever had. Then he says that he's been in UILI for over 24 years and always thought to be in an association of laboratories such as UILI or AELI, gave added value to the business of his laboratory and also says he has learned a lot within these associations that helped him to run his laboratory activity and also to make very good friends. Dr Fernandez also says that in this globalized world where International organizations dictate the rules for our activity now more than ever the union is strength in the defence of business and during his presidency he tried to defend that.

**13.0 To receive the reports on UILI external representation**

**13.1 Report by the UILI representative Dr. T. Matsumura on the UILI-ILAC/IAF representation**

**13.2 Report by the UILI representative Mr. G. McIntee on the UILI-ISO/CASCO representation**

**13.3 Report by the UILI representative Dr. Álvaro Silva on the UILI-Eurolab Working Group on the UILI-Eurolab Memorandum of Understanding**

Dr Fernández informs that given the length of all the reports received they have not been included in the folder, but they will also be uploaded on the website. He also adds that the following day will meet all the working groups and everyone is invited to attend if they want to get more information about their activities.

**13.4. Report by the UILI representative Mrs. Mary-Anne Adeeko on the UILI- ISO 17025 Working Group (connected by skype)**

Dr. Fernández says that the representative is Mary-Anne Adeeko, and that she is not present at the assembly in Buenos Aires, but they are going to contact her by skype to get her report. So the skype connection is made and Mary-Anne explains the following:

UILI ISO 17025 Internal Work Group was created by the UILI Board to coordinate the various issues of interest from the Association laboratories and liaise with EUROLAB Internal W.G. to ensure that both organisation utilize the opportunity and go to the ISO/CASCO ISO 17025 revision meetings preferably with common positions.

Members of the group:
Mrs. Mary-Anne Adeeko (FRALS, Nigeria) – Coordinador
Dr. Álvaro Silva Ribeiro (President of RELACRE, Portugal)
Dr. Toru Matsumura (JEMCA, Japan)
Dr. Luc Scholtis – Secretary-General
Mr. Jorge Oliver-Rodés President of AELI
Drs. Van der Wart- President of VRS.
And
Elected UILI representatives to the ISO/CASCO ISO 17025 revision meetings:
Mr. Gilbert McIntee (Canada) UILI representative in WG 44
Dr. Mitsuko Yasoshima. (JEMCA, Japan) UILI representative in WG 44

Mrs. Melissa M. Fernández Valero (UILI Secretary)

Benefit to UILI: Representatives attending ISO/CASCO ISO 17025 revision meetings on behalf of UILI will be empowered to present the voice of the association and through the cooperation with EUROLAB WG, the ISO/CASCO meeting will recognize the contribution of UILI.
The cooperation is very important for the health and wellness of the future of UILI that its name sounds clearly in meetings of all international organizations.

Activities of the IWG: Meetings were held via Skype during which activities of the ISO/CASCO WG 44 were reviewed and UILI opinions were provided to the representatives. The IWG established effective contacts with the EUROLAB 17025 WG and when necessary made some joint meeting between the two groups.

UILI position presented at the last WG 44 meeting are listed in attachment1 while Attachment 2 titled UILI Participation in ISO CASCO WG44 and Work Plans, shows the status of the revision activities and UILI participation.

Future activities: ISO CASCO WG44 will release the Committee Draft CD by September 18th for wider comments by all stakeholders. The window for comments maybe about 4 weeks UILI Associations are expected to review the CD timely and communicate their opinions and comments to UILI Secretariat for timely collation. Areas of focus are sampling clause 7.1.2, thoughts on sharing or a joint usage of equipment and sharing or a joint usage of reference materials. Explanations will be provided by the representatives on other areas.

Appreciation: I hereby express my gratitude to Dr. Fernandez and the Board members for the opportunity given me to serve on the IWG, to the EUROLAB team namely Mrs. Irache Visiers, Mr. Peter Blinksbjerg and Ms. Carol Stewart for their support and collaboration with UILI IWG. I also express my gratitude to Mrs. Melissa M. Fernandez, and all members of the IWG for their contributions to the success of the WG.

Next Meeting: Suggested date October 15th, 2015. The Secretary will send out all necessary

At this point Drs Scholtis tells to Mary-Anne that the General Assembly has accepted the Board proposal of asking her to accept the position of Secretary-General, and she says she appreciates very much the proposal which was not expected and she accepts it.

**14.0 To receive the report from the ILP committee by the chairman Dr. T. Matsumura**

**1.1 8th UILI-ILP Report**

**1.2 9th UILI-ILP in process**

Dr Fernández informs that given strength of time in the programming of the day, the report will not be presented now and will be uploaded on the website. He also adds that the following day will meet the ILP working group at CALIBA´s office and everyone is invited to attend.

**15.0 To receive the reports from member associations**

**1.3 JEMCA (Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association) - Japan – Dr. Toru Matsumura**

**1.4 AELI (Asociación Española de Laboratorios Independientes) - Spain - Mr. J. Oliver Rodés**

**1.5 CCIL (Canadian Council of Independent Laboratories) - Canada - Mr. G.G. McIntee**

**1.6 RELACRE (Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal) - Portugal –**

**Dr. A. Silva Ribeiro**

**1.7 VRS (Vereniging van Raadgevend Scheikundigen) -The Netherlands - Drs. J.H.F. van der Wart**

**1.8 CALIBA (Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Bromatológicos, Ambientales y Afines) – Argentina – Dr. Horacio Denari**

**1.9 IPAN (Institute of Public Analysis of Nigeria) – Nigeria - Dr. Femi Oyediran**

Dr Fernández informs that given the length of all the reports received they have not been included in the folder, but they will also be uploaded on the website. He also adds that some of those reports are included in the presentations of the LABMMEETING and that given the strength of time in the programming of the day the reports will not be presented now in the assembly, but he invites to anyone who wants information about what is being done in each country association to visit the website and see the full report of it.

**16.0 Other business properly approved by the president**

No further business are proposed.

**17.0 Place and date of the 27th General Assembly to be held in autumn 2017**

It is decided to hold the next General Assembly on autumn 2017 in Friday 15th of September at the Netherlands. The place will be chosen in time by the president.

**18.0 To transfer of powers to new President**

At this point Dr Fernández congratulates once more the elected president to whom officially he should transfer the powers at that moment and ask for permission to act in office for the rest of the activities in Buenos Aires that are logically of his responsibility.

Drs Scholtis says that Dr Fernandez should continue as president during this day.

**18.0 Adjournment**

Dr Fernández thanks all the attendees for their participation in the meeting and being 10:09 the president adjourns the meeting.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENTS
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料D

# UILI EXECUTIVE COMMITTEE

## Skype meeting 29th March 2016

**Participants:**

| COUNTRY | TIME | SKYPE ADDRESS |
|---|---|---|
| DRS. LUC SCHOLTIS / NETHERLANDS / LABWING | 12:00 H | luc_scholtis |
| DR. ALVARO SILVA / PORTUGAL/ RELACRE | 11:00 H | relacre |
| MR. JORDI OLIVER / SPAIN/ AELI | 12:00H | jordi.oliver.rodes |
| MRS. MARY-ANNE ADEEKO/ NIGERIA/FRALS | 12:00 H | subomi.adeeko |
| DR. MATSUMURA (IDEA)/ JAPAN / JEMCA | 20:00 H | Not present |
| DR. MANAHEN FERNANDEZ/PASS-PRESIDENT | 12:00 H | manahen.fernandez1 |
| SECRETARY: MELISSA | 12:00 H | melissafeva |

### 1. Roll-call of attendants

Drs Scholtis welcomed all the participants.

Mr. Oliver-Rodés expressed his congratulations to Dr Matsumura for all the process to get the REMCO A liaison status.

Drs Scholtis agreed with Mr. Oliver-Rodés and added that the process included ~~he also expressed that this was not a very difficult issue, just to~~ filling out several documents and that ~~but~~ this is the kind of activities that UILI should do.

### 2. Approval of the agenda

Drs Scholtis asked if anyone wanted to add any subject to the agenda.

Drs Scholtis said that in order to have full transparency the minutes of the meetings of the executive committee would be made available on the web for all Board members.

All agreed and the agenda was approved.

**2.2 Minutes Approval**: Drs Scholtis asked if there was anything to add or any changes suggested to the minutes the last meeting. Melissa said that the minutes were sent again with the agenda and so far no further comments have been received.

Mr Oliver-Rodés asked to please remove the following sentence regarding the reinvestment of bonds: *"He also expressed that he doesn't know much about this."* And Melissa made the change at the moment.

Drs Scholtis added that the dates indicated for the annual Board Meeting should be updated from 3th and 4th November to 27th and 28th October. Those dates were then changed.

Drs Scholtis read one by one all the conclusions and actions of the past minutes and he asked if Dr Matsumura had given any suggestions about bonds reinvesting and Melissa answered not for the moment, then he suggested that it would be good to ask him again.

Finally minutes were approved with the proposed changes.

**3. ILP update**

Drs Scholtis explained that ILP announcements have been sent three times to around 2000 labs available in UILI's database.

He also informed on the number of participants for each ILP with 37 in total so far and he expressed that these numbers are not very satisfactory and progress is not as good as expected, given the effort done from UILI to spread this information among laboratories of many different countries. He wondered what could be the reason(s) for that failure .In addition, he said that he knows there are many issues to improve, such as sending appropriate technical information with the announcements, such as the one provided by JEMCA, the accreditation status of the programmes, reporting date for the final report…

Drs Scholtis said that he has received the complete technical information of the ILP only from JEMCA and he expressed that it is very important to have it also from CALIBA and RELACRE.

Mrs. Fernández Valero said that she has sent the documents to revise and fill in to both associations and she asked Dr Silva to please remind the person in charge of it in RELACRE to revise and fill in the documents with the complete information of the ILP so that this useful information can be sent to all the participants registered as soon as possible.

Dr Fernández expressed that from his point of view the most important problem here is that many labs are looking for accredited inter laboratory programmes and up to now UILI can't offer them. He said this is the case of Europe and some South American countries.

Drs Scholtis asked how UILI could manage this issue and may be should ask experts.

Dr Fernández said he thinks that at this moment we should just think in the accreditation of the independent providers but in future in case UILI wanted to get accredited as intermediate provider should also ask experts about.

Mr Oliver-Rodés then said that in his opinion in Spain is most important for participants that the provider is accredited.

Drs Scholtis said that according to the standard the PT provider could be UILI.

Dr Silva informed that RELACRE is preparing their accreditation for the next year.

Dr Fernández told that according to a conversation that he had last week with Mrs Marta Sancho, CALIBA is also preparing this accreditation for this year.

Drs Scholtis suggested to include in the website and in the information sent to laboratories the accreditation status of the providers.

3.2 Mrs Fernández Valero read the e-mail received from Dr Matsumura where he informed about the following:

*"Now JEMCA've been collect the participants from Japan (also China, Korea and Thailand).*
*Situation for the number of participants are not so good.*
*From next week, We JEMCA will try to get more participants by direct phone call round 100 Laboratories who are the member of JEMCA.*
*Now, there are almost no participants from European countries.*
*Could you (associations) collect more participants from each country?"*

Mrs Fernández Valero expressed that as was said before the announcement has been sent three times so far and also she has contacted directly the secretariats from association's members of UILI and EUROLAB to spread this information among their members.

Mr Oliver-Rodés confirmed that AELI received and sent this information but he said that the announcement should be sent earlier before the year ends so that laboratories can include this expense in their annual budgets.

Then Mrs Fernández Valero suggested to plan a skype meeting of the ILP W.G. for next week to discuss this issues.

Drs Scholtis agreed and proposed to add as a point in the meeting about the financial situation of the ILP.

**4. New Delhi Board meeting 2016:**

Hotel:
Drs Scholtis explained that they were informed that the initial hotel Marriot proposed to hold ILAC meeting would be changed and that they are still waiting for the confirmation of the new hotel.

Flight:
Mrs Fernández Valero explained that even if the hotel is not confirmed yet the dates of UILI meetings are confirmed so the Board Members can start searching for flights if they want.

India Laboratory:
She also read the message received from Dr Matsumura telling the following:

*"I'd contacted to my friendly private Laboratory in New Delhi.*
*This Laboratory (company) is biggest commercial testing Laboratory in India.*
*I'll be sure able to have some response from them till the early April.*
*Could you wait?*
*I'll send a report for all member of the board of directors after getting the answer."*

UILI/ILAC meetings:
Dr Silva asked Melissa if she already had the programme of the ILAC meeting because it would be interesting to plan UILI's meeting not coinciding with meetings of ILAC, given that there are some ILAC meetings which would be very interesting for the UILI Board Members to attend.

Mrs Fernández Valero answered that she had asked many times ILAC's secretaries for New Delhi's meeting programme but they answered that they don't have it yet and that they would send it to her as soon as they have it ready.

Dr Silva also added that he will be attending the next week the ILAC LC meeting in Frankfurt and in case he get any information else about New Delhi meeting he will inform Mrs Fernández.

Drs Scholtis asked Dr Silva if he could also represent UILI in Frankfurt's meeting and Dr Silva confirmed that he could represent UILI and inform the Board Members after the meeting about the main issues discussed there.

Drs Scholtis added that he also would try to go to Frankfurt if possible.

**5. Brief report of ISO 17025 WG:**

Mrs. Adeeko said that she sent an e-mail few days ago to Mr McIntee to inform the WG what happened in the last ISO WG44 meeting and she got no answer yet, but Dr Mitsuko sent information about it and this morning she sent to Melissa a brief report by mail with the following:

MEETING of ISO/CASCO WG44 on Revision of ISO/IEC 17025:2005 Conformity assessment – General requirements for the competence of testing and calibration laboratories held on 16-19 February 2016 in Pretoria, South Africa
Host: South African Bureau of Standards (SABS) and organizing: National Laboratory Association (NLA)

1. UILI Representative: Mr. McIntee
2. WG 44 released Committee Draft CD2 due to the number of comments and questions on CD1
3. Ballot opened on 24 March, 2016 and closes on 24 May, 2016
4. Summary of Report in attachment
5. Suggest that UILI ISO/IEC 17025 WG to hold a Skype meeting on Tuesday 26 April, 2016 to review comments on the CD2
6. Completed Ballot document to be updated into the ISO database by 9 May,2016 by Dr Mitsuko
7. Next Meeting of the Drafting Group (DG) meeting from 11-14 July 2016, in Geneva, at the ISO Central Secretariat premises and WG meeting will hold from 20-23 September 2016, in Geneva, at the ISO Central Secretariat premises.

Mrs. Adeeko proposed to have a skype meeting on April 22th for the ISO 17025 WG to revise the documents sent by Mitsuko and to make decisions regarding the next meeting of the WG44.

**6.0 ISO/REMCO:**

Drs Scholtis reported that UILI has been accepted as a member of ISO REMCO and that the most important point at this meeting is to decide who would attend the next meeting of REMCO in Ekaterinburg, Russia. He also said that it is important to invite ISO REMCO to

have one observer in UILI and that it is important to send a good representative from UILI for this first meeting. He asked if any of the attendees could attend this meeting but no one is available. He then proposed himself to attend the meeting if there is no one to attend.

Mrs Fernández Valero said that she had asked D. Alfredo Montes-Niño and he said he had difficulty attending at the dates of the meeting but that if Dr Matsumura would not be able to go he will try to go on. Melissa said that for tomorrow it must be known who is assisting to inform and fill application to ISO, so she would ask again to D. Alfredo today if finally he is able or not to attend and she would keep Drs Scholtis informed.

**7.0**
**Membership recruitment:**
Dr Fernández explained that he has contacted several times by skype with a Colombian association of labs and they seem to be interested in becoming member of UILI but they are still discussing with another bigger association in Colombia to see if they can apply together for membership or separately.

Dr Fernández also informed that D. Alfredo Montes-Niño offered himself to contact a Brazilian association but they are still waiting for further information about this issue.

Mrs Fernández said that D. Alfredo yesterday had sent a mail with the address of a Chinese company that was interested in joining UILI and we will send today all the information to the company.

Mrs Fernández Valero explained that she has been searching new Indian labs to add together with Labwing to UILI's database and so far they have around 150 labs in the list. She added that after talking with Drs Scholtis they have decided from now on to focus more on searching associations of laboratories more than independent companies. She expressed that she had tried that before and this is not an easy work because it is very difficult to find associations of laboratories in internet.

Mrs Adeeko explained that she has prepared a letter of recruitment to send to African laboratories and she is also preparing together with UILI some documents with information of our association to send it mainly the National Laboratory Association of South Africa NLA and to other African countries. She also explained that now in Nigeria they have many problems to transfer money outside and this is a problem now for IPAN because they are a government body and it is difficult to manage payment's issues. However, she said the payment will be made soon.

Drs Scholtis expressed that UILI fully rely on her that everything will be properly solved.

**8.0 CONCLUSIONS AND ACTIONS:**

- **MINUTES:** *It was decided that minutes of the meetings of the executive committee would be made available on the web for all Board members.*
  - **ACTIONS:** (Melissa)(Next week)

  To add the minutes to web

- **BONDS***: Melissa would ask Dr Matsumura again about bonds reinvesting.*

- **ILP:**
  *It was decided to hold a meeting of the ILP WG next week to discuss several relevant issues: delay of deadline of application, finances of ILP, technical information of ILP, accreditation of the ILP…*

  - **ACTIONS:** (Melissa)(This week)
    - To send the agenda of this meeting and send the announcement to WG members
- **Next Board meeting:** *We are waiting for the confirmation of the new hotel for ILAC attendees and for the programme of ILAC's meeting*

  a. *PLACE: New Delhi/ India*
  b. *DATES: 27th and 28th October 2016*

  - **ACTIONS:** (Melissa)
    - To keep in contact with ILAC and NABL
    - To get information from Dr Matsumura Indian laboratory friend
    - To get information from Dr Silva contact person in India
    - To prepare and send the registration forms for Board Members
    - Dr Silva would represent UILI in next LLC meeting of April and would report to secretariat the important issues.

- **Brief report of ISO 17025 WG:**

  *Mrs. Adeeko informed of the last WG44 meeting.* To meet the deadline of 24th May, 2016 for reporting of the released Committee Draft CD2, *she proposed to have a Skype meeting for the ISO17025 WG in April.*

  - **ACTIONS**: (this week)
    - To prepare the agenda of April's meeting (Mrs Adeeko)
    - Send the announcement of the meeting to the WG members (Melissa)

- **ISO/REMCO:**
  *Drs Scholtis expressed the relevance of sending a representative of UILI to Ekaterinburg REMCO's meeting.*

  - **ACTIONS:** (Melissa)
    - To confirm if D. Alfredo Montes-Niño will be able to attend this meeting and inform Drs Scholtis.
    - To invite ISO REMCO to have one observer in UILI.

- **Membership recruitment update:**
  *Dr Fernández is in contact with a Colombian association (ASOCIACION DE LABORATORIOS PRIVADOS INDEPENDIENTES DE COLOMBIA ALPIC) and Mr. Alfredo Montes Niño with a Brazilian association of laboratories (Ass. of Lab for analysis of psychotropic substances), to try to incorporate it to UILI.*
  *Mrs. Fernández is searching for Indian labs and will start looking for new associations.*
  *Mrs. Adeeko will start sending information to recruit new African labs.*

  - **ACTIONS:**
    - To continue the negotiations with these Associations (Dr Fernández and D. Alfredo Montes)
    - To search for new associations of laboratories (Melissa)
    - To send recruitment information to African labs (Mrs. Adeeko)

- **Reinvestment of bonds:**

  *It was decided in the past meeting not to make any investment by now* and wait a *time to see how the market evolves because now there is a big uncertainty and downward trend and then when the time comes to choose a low-risk product.*

  - **ACTIONS: (Dr Matsumura)**
    - To remind Mr. Treasurer, Dr Matsumura to make a decision about investments.

資料E

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LAB
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

# UILI EXECUTIVE COMMITTEE

## Skype meeting 26th Jan. 2016

**Participants:**

| COUNTRY | TIME | SKYPE ADDRESS |
|---|---|---|
| DRS. LUC SCHOLTIS / NETHERLANDS / LABWING | 12:00 H | luc_scholtis |
| DR. ALVARO SILVA / PORTUGAL/ RELACRE | 11:00 H | Not present |
| MR. JORDI OLIVER / SPAIN/ AELI | 12:00H | jordi.oliver.rodes |
| MRS. MARY-ANNE ADEEKO/ NIGERIA/FRALS | 12:00 H | subomi.adeeko |
| DR. MATSUMURA (IDEA)/ JAPAN / JEMCA | 20:00 H | Not present |
| DR. MANAHEN FERNANDEZ/PASS-PRESIDENT | 12:00 H | manahen.fernandez1 |
| SECRETARY: MELISSA | 12:00 H | melissafeva |

1. **Roll-call of attendants**

Drs Scholtis welcomed all the participants.

Mrs. Melissa Fernández said that apologies have been received from Dir. Silva and Dr Matsumura for not being able to participate in this meeting.

Mr. Oliver-Rodés expressed his apologies for not attending earlier meetings. Drs Scholtis thanked him for being today in this meeting as Vice-President.

2. **Approval of the agenda**

Drs Scholtis asked if anyone wants to add any subject to the agenda.

Dr Fernández suggested to include discussions to talk about LCC representation of UILI in ILAC.

All agreed and the agenda was approved.

3. **Board meeting September:** to fix place and dates

Drs Scholtis said that he expected Dr Silva to be here to give some advice about it. He said that he had thought that the UILI meeting could be this year in an Asian country and Dr Silva had commented that ILAC was going to hold its annual meeting in New Delhi, so he suggested that this could be a good place for the meeting of UILI taking advantage of the ILAC next meeting is there.

Mr. Oliver Rodés asked for ILAC's meeting date's information in New Deli.

Dr Fernández answered that this is at the end of October

Drs Scholtis confirmed the dates as October 27th to November 4th and again suggested to make the UILI meeting to coincide with the last days of the ILAC meeting. He said, for example 3th and 4th of November. He also expressed that it would be such an important thing to have representation in ILAC meetings. To achieve this he suggested to start contacting corporate members in India, such as Eurofins that could help UILI prepare the meetings.

The other participants agreed with New Delhi and the dates.

Drs Scholtis explained that in his opinion there are three recruitment areas for UILI:

1. Europe where most of the countries are already in EUROLAB, so we have to focus in making EUROLAB a member of UILI.
2. Developing countries such as South America, Africa and Asia
3. Lost associations such as ACIL: he pointed out that we missed an opportunity last year when it celebrated the 75th anniversary and UILI didn't send a congratulatory message for the event. In any case he says this is not a good time to approach to them.

Mrs. Adeeko said that besides JEMCA UILI doesn't have any other Association members in Asia that it will be good UILI get new Asian members. She also says that in Africa there are not many associations but the more advanced are South African labs and also suggest to contact them.

Drs Scholtis informed that EUROLAB has an associated member in South Africa and maybe she could contact directly that association to try to get it as new member of UILI.

Dr Fernández added that he thinks it is a good idea to get more African and Asian members but the thing that we must have in mind by now is that the organization of UILI's meeting in New Delhi could be very complicated without any help from inside. He also said that in his experience to prepare a good meeting it is essential to have a good contact in the country.

Drs Scholtis said that the huge organization of the ILAC meeting could be enough for our UILI annual meeting and maybe we should only organize the internal meetings of UILI. ILAC meetings have a lot of activities including conferences and social events.

Dr Fernández agreed and said that could be a good idea even to use the hotels proposed by ILAC for the UILI meetings.

Mr. Oliver Rodés expressed that in his opinion it would be better to have a local contact to arrange everything: hotel, restaurants… He also said that it is a good idea to get members from that region. He also talked about the regional associations.

Drs Scholtis said that if all agree they will start working on searching for corporate members. Regarding the regional associations that Mr. Oliver commented he said that there are labs associated by sectors, by countries, by regions… so the thought is that UILI should cover all these groups.

Dr Fernández said that then summing the place and date will be

a. PLACE: It is set that the next UILI meeting will be held in New Deli

b. DATES: It is set that the next UILI meeting will be the 27th and 28th of October 2016

Dr Fernández said that it will be good to look for a Company or association in India to help us with the organization. He also said that it will be important to contact ILAC from our secretariat to explain to them that we are going to have our meeting coinciding in dates with their events to participate with them.

Drs Scholtis fully agreed and he proposed the following:

- We contact ILAC: find out the venue
- We contact UILI's member in India
- We contact the labs association in India

**4. New members associations: actual state of membership recruitment**

Dr Fernández explained that he has been in contact with a Colombian association (ASOCIACION DE LABORATORIOS PRIVADOS INDEPENDIENTES DE COLOMBIA ALPIC), trying to get them as new members. He will contact them again at the end of this week to see if there is any advance. He also added that Mr. Alfredo Montes has talked with him explaining that he was in contact with a Brazilian association of laboratories (Ass. Of Lab for analysis of psychotropic substances), to try to incorporate it to UILI.

Drs Scholtis asked Melissa to add these two associations' names in these minutes and he also asks Melissa to contact GEOCHEM that is in Asia.

**5. ILP:**

Mrs. Melissa expressed that we have not received any answer from the organizers JEMCA, CALIBA or RELACRE about the revision of the ILP draft program for 20116-17 and given the timing she proposed to send the announcement as it is now and no delay it any more.

Drs Scholtis agreed with sending the announcement and he asked Melissa also to send Mr. Oliver the draft proof of the ILP.

**6. Brief report of ISO 17025 WG January meeting:**

Mrs. Adeeko said that she has reviewed the CD 1 version 2 document with the EUROLAB comments and she thinks that there are no more issues to cover. She also said that she will and her comments to Irache to have her opinion. She asked Melissa to send this document to all the WG members.

**7. Secretariat's update: Reinvestment of bonds:**

Dr Fernández said that the bank contact told us there's no interest in our bank accounts and they cannot give advice about investments but they sent us a link with different options including profitability and risk so we have to take a decision about it. He then said that his opinion at the moment is the following: leave UILI´s money as it is now and wait several weeks or months to see how the market evolves because it is now clear that there is a big uncertainty and downward trend and then when the time comes to choose a low-risk product.

Mr. Oliver said that UILI should not take risks.

Drs Scholtis said that he agrees with Dr Fernández and he thinks that Mr. Treasurer, Dr Matsumura, should take a decision about it.

**8. Representatives of UILI in ILAC and LLC meetings:**

Drs Scholtis said that this point has already been solved with the decision of having the meeting of the UILI in conjunction with the one of ILAC.

Dr Fernández agreed.

With no further items to discuss Mr President ended the meeting.

**CONCLUSIONS AND ACTIONS:**

- **Next Board meeting:** *It is decided for the next UILI annual meeting the place and date will be*
  a. *PLACE: New Deli/ India*
  b. *DATES: 27th and 28th of October 2016*

  ➢ **ACTIONS:** (Melissa will make the contacts) (February)
  - To contact ILAC: find out the venue
  - To contact UILI's member in India if we have any
  - To contact the labs associations in India
  - To prepare the program

- **New members associations: actual state of membership recruitment**
  *Dr Fernández is in contact with a Colombian association (ASOCIACION DE LABORATORIOS PRIVADOS INDEPENDIENTES DE COLOMBIA ALPIC) and Mr. Alfredo Montes Niño with a Brazilian association of laboratories (Ass. Of Lab for analysis of psychotropic substances), to try to incorporate it to UILI.*

  ➢ **ACTIONS:**
  - To continue the negotiations with these Associations (Dr Fernández and D. Alfredo Montes) (February)
  - To send out the information package to the lists of potential members. (February and Mars)

- **ILP:**
  *It is decided to send out the announcement of the 2016-2017 ILP program as it is now because no answer has been received from JEMCA, CALIBA or RELACRE about changes in the last draft*

  ➢ **ACTIONS:** (Melissa)(Next week)
  - To send the announcement
  - To send Mr. Oliver the draft proof of the ILP

- **Brief report of ISO 17025 WG January meeting:**
  *Mrs. Adeeko has reviewed the CD 1 version 2 document with the EUROLAB comments and she will tell Melissa to distribute her comments to the 17025 W.G. members and to Irache to have their opinion.*

  ➢ **ACTIONS**: (Melissa) (this week)
  - To send Mrs Adeeko comments to the 17025 W.G. members and to Irache.

- **Reinvestment of bonds:**

  *It is decided not to make any investment by now* and wait a *time to see how the market evolves and then when the time comes to choose a low-risk product because now there is a big uncertainty and downward trend.*

  - **ACTIONS: (Dr Matsumura)**
    - To ask Mr. Treasurer, Dr Matsumura to take a decision about investments.

- **Representatives of UILI in ILAC and LLC meetings:**

  *This point by now is solved with the decision of having the meeting of UILI together with the one of ILAC.*

資料F

| | Project. 2014 | FINAL 2014 | Projected 2015 | DECEMBER 31th 2015 |
|---|---|---|---|---|
| **Income** | | | | |
| Membership Dues | | | | |
| Associations | 15,000.0 | 13,806.0 | 16,910.0 | 16,910.0 |
| Affiliates | 4,000.0 | 1,080.0 | 3,000.0 | 1,440.0 |
| New Memberships | | 1,200.0 | | 1,515.0 |
| **Total Membership Dues** | 19,000.0 | 16,086.0 | 19,910.0 | 19,865.0 |
| Advertising/sponsoring | | 900.0 | 2,000.0 | 0.0 |
| Workshops/ labmeeting events | | 426.0 | 1,000.0 | 0.0 |
| Interest Income | 900.0 | 1,136.3 | 600.0 | 385.7 |
| ILP Income | 7,000.0 | 2,984.0 | **4,000.0** | **2,654.0** |
| **Total Income** | **26,900.0** | **21,532.3** | **27,510.0** | **22,904.7** |
| **Expense** | | | | |
| Bank Service Charges | | | | |
| DK-61 account | 400.0 | 802.3 | 500.0 | 499.8 |
| Exchange Rate Adjustment | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| DK-28 account (bonds) | | 50.4 | 30.0 | 40.5 |
| **Total Bank Services** | 500.0 | 852.7 | 530.0 | 540.4 |
| Accounting Fees | 300.0 | | | |
| International Assns | 1,100.0 | 907.3 | 1,028.0 | 950.6 |
| Governing Board Expenses | | | | |
| Governing Board Meeting Expenses | 1,000.0 | 0.0 | 1,000.0 | 1,083.5 |
| Workshops expenses | | 0.0 | | |
| Other | | 0.0 | 1,000.0 | 0.0 |
| **Total Governing Board** | 1,000.0 | 0.0 | 2,000.0 | 1,083.5 |
| Miscellaneous | | | | |
| Secretariat | | | | |
| Administration | 16,000.0 | 16,000.0 | 16,000.0 | 16,000.0 |
| Office expenses | 500.0 | 147.8 | 300.0 | 202.7 |
| Secretariat Travel Expenses | 2,000.0 | 1,294.0 | 2,000.0 | 0.0 |
| **Total Secretariat** | 18,500.0 | 17,441.8 | 18,300.0 | 16,202.7 |
| Marketing & PR | | | | |
| Web Hosting | 4,100.0 | 4,433.0 | 4,433.0 | 4,472.6 |
| Design & software eng. | | 460.0 | 460.0 | 0.0 |
| **Total Marketing & PR** | 4,100.0 | 4,893.0 | 4,893.0 | 4,472.6 |
| **Total Expense** | **25,500.0** | **24,094.8** | **26,751.0** | **23,249.7** |
| Total income | **26,900.0** | **21,532.3** | **27,510.0** | **22,904.7** |
| **NET BALANCE** | **1,400.0** | **-2,562.5** | **759.0** | **-345.0** |

NOTES:

1. MEMBERSHIP UNCOLLECTED: 1335 €
2. ACTUAL EXPENSES WERE LESS THAN PLANNED IN 3500 €
3. ACTUAL INCOME WERE LESS THAN PLANNED 4600 € MAINLY:
   - A.- ILP: 1350
   - B.- ADVERTISSING/ SPONSORING/WORKSHOPS: 3000
   - C. INTERES INCOME:

NET RESULT B.A. 2015 MEETING

| INCOME INVOICED TO BOARD MEMBERS IN 2015 BOARD MEETING EVENTS | EUROS |
|---|---|
| COMPANY | INVOICED |
| JEMCA | 1640.9 |
| DR. FERNÁNDEZ | 708 |
| LABWING | 1124.17 |
| RELACRE | 713.06 |
| MRS. ADEEKO | 21 |
| P.A LAB. DE AGUAS | 75 |
| TOTAL INCOME | 4,282.16 |

| BOARD MEETING EXPENSES | | | | |
|---|---|---|---|---|
| HOTEL ROOMS | | | | 1650 |
| PRESENTS FOR CALIBA´S SECRETARY AND PRESIDENT | | | | 46.1 |
| WEDNESDAY DINNER | $ | 3,900.00 | ARG. PESOS | 354.55 |
| BALANCE REIMBOURSED TO CALIBA | $ | 36,464.60 | ARG. PESOS | 3,314.96 |
| TOTAL EXPENSES | | | | 5,365.61 |

| | |
|---|---|
| NET RESULT FROM UILI BOARD MEETING IN BUENOS AIRES (EUR | - 1,083.45 |

25TH AUGUST 2015

## MEMBERSHIP INVOICES:

| MEMBERSHIP INVOICES | DATE | MEMBERS REF | INVOICE | Status | TOTAL |
|---|---|---|---|---|---|
| **ASSOCIATIONS:** | | | | | |
| AELI | 2015/3/3 | 1120 | 15/0018 | Paid | 1950 |
| JEMCA | 2015/3/4 | 556 | 15/0019 | Paid | 6136 |
| CCIL | 2015/8/3 | 394 | 15/0043 | Paid | 2925 |
| CALIBA | 2015/2/10 | 5312 | 15/0010 | Paid | 1950 |
| VRS | 2015/3/4 | 1157 | 15/0020 | Paid | 1755 |
| RELACRE | 2015/3/3 | 1797 | 15/0017 | Payment in process | 2193.75 |
| | | | | | **16909.75** |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **UNAFFILIATED:** | | | | | |
| Eurofins Scientific Group | 2015/2/10 | 447 | 15/0012 | Paid | 180 |
| Al Hoty-Stanger Ltd. | 2015/3/4 | 7 | 15/0021 | Paid | 180 |
| GEOS N.V. | 2015/3/4 | 361 | 15/0024 | Paid | 180 |
| EkoSmyrna Laboratuvari | 2015/3/4 | 5102 | 15/0025 | Paid | 180 |
| Nestec Ltd. Research Centre | 2015/3/4 | 5104 | 15/0027 | Paid | 180 |
| Edtech Associates Sdn. Bhd. | 2015/3/4 | 1733 | 15/0023 | Paid | 90 |
| Frals testing and consulting service | 2015/3/4 | 2322 | 15/0026 | Paid | 90 |
| | | | | | **1080** |

## NEW MEMBERS INVOICES:

| MEMBERSHIP INVOICES | DATE | MEMBERS REF. | INVOICE | Status | TOTAL |
|---|---|---|---|---|---|
| Microbitoicos Paraguay SR | 2015/2/10 | 6368 | 15/0001 | Paid | 90 |
| Microbioticos Uruguay | 2015/2/10 | 6369 | 15/0002 | Paid | 90 |
| Microbioticos Analises Laboratoriais | 2015/2/10 | 6370 | 15/0003 | Paid | 180 |
| PA laboratório de águas | 2015/2/10 | 6371 | 15/0004 | Reminder sent | 180 |
| | | | | | **540** |

**TOTAL UNNAFILIATED PAID INVOICES:** **1620**

## UNPAID MEMBERSHIP INVOICES:

| MEMBERSHIP INVOICES | DATE | MEMBERS REF | INVOICE | Status | TOTAL |
|---|---|---|---|---|---|
| Flandres Analyses | 2015/2/10 | 2096 | 15/0013 | Reminder sent | 180 |
| Oikonomidis R.T.I. Ltd. | 2015/2/10 | 1848 | 15/0014 | Reminder sent | 180 |
| Institute of Public Analysts of N | 2015/8/4 | 5275 | 15/0044 | Generated | 975 |
| | | | | | **1335** |

3

25TH AUGUST 2015

| 9TH ILP | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **Country** | **Name** | **Name 2** | **CP_Attn** | **CP_E-mail** | **FEE** | **STATUS** | |
| Spain | Laboratorio Dr. Oliver Rodés S.A. | | Attn. Miss. V. H. Herranz | avh@oliver-rodes.com | **200** | **PAID** | |
| Argentina | Wasser Servicios Industriales S.A | | Attn. Ing. Grandi | fgrandi@laboratoriowasser.com.ar | | | Compensated with Labmeeting expenses to CALIBA |
| Argentina | SGS Argentina S.A. | Laboratorios Inorgánicos | Attn. Miss Astore | mariana.astore@sgs.com | **200** | **PAID** | Compensated with Labmeeting expenses to CALIBA |
| China | CSD IDEA (Beijing) | Environmental Test & Anal | Attn. Mr. Yamazaki | ymz20839@ideacon.co.jp | | | Invoiced by JEMCA |
| France | Air Liquide France Industrie | Balazs NanoAnalysis | Attn.: M. P. Bouard | pascal.bouard@airliquide. | **300** | **PAID** | |
| Germany | Kiwa GmbH | | Attn. Mr. Söllig | michael.soellig@kiwa.de | **300** | **PAID** | |
| Belgium | GEOS | | Attn. Mr. Soers | jsoers@geos.be | **200** | **PAID** | |
| Korea | Industry-University Cooperation Fou | Center for Instrumental Ana | Attn. Ms. Ji-young | ohjy@ks.ac.kr | **300** | **PAID** | |
| Portugal | Instituto Politécnico de Beja - Escola Superior Agrária | | | | **160** | **PAID** | |
| France | Air Liquide France Industrie | Balazs NanoAnalysis | Attn.: M. P. Bouard | pascal.bouard@airliquide. | **300** | **PAID** | |
| Korea | Pharm-Steril Institute, IKScience. Co., Ltd. | | Attn. Mr. Kim | jbkim@ikscience.com | **300** | **PAID** | |

| | | |
|---|---|---|
| JEMCA BALANCE | **394** | |
| TOTAL INCOME FOR UILI | 2654 | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| México | Atlatec, SA de CV | | Attn. Sr. Álvarez | hilda.arellano@atlatec.cor | **300** | **OVERDUE** |

25TH AUGUST 2015

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | **BANK INTERESTS/EXPENSES** | | | | | | | | | |
| | | **INTEREST INCOME DKK (28)** | | | **BANK EXPENSES € ACC. (61)** | | | **BANK EXPENSES DKK ACC. (28)** | | |
| | 1 APR. | 2878.6 | | Bank charges | 487.82 | | 1 JAN - 31 MARCH | 30 | | |
| | **TOTAL DKK** | **2878.6** | | Donor's bank | 12 | | 12 JUN. | 112.5 | Custody charges | |
| | **TOTAL €** | **385.72** | | **TOTAL €** | **499.82** | | 30 JUN - 1 JUL | 45 | | |
| | | | | | | | 1 JUL - 30 SEP | 45 | | |
| | | | | | | | 1 OCT - 31 DEC | 70 | | |
| | | | | | | | **TOTAL DKK** | **302.5** | | |
| | | | | | | | **TOTAL €** | **40.53** | | |

**EXCH, RATE** **7.462926475**

資料G

## STATEMENT OF ACCOUNTS AS OF DECEMBER 31 - 2015

| Item | CREDIT € | DEBIT € | Comment |
|---|---|---|---|
| Operational acct: EUROS<br>Foreign currency acct #4180668861 € | **23,125.91** | | (172.577 DKK) |
| Deposit:<br>Corporate acct #4183069128 DKK | 19,908.86 | | **148.569 DKK** (no interest income) |
| Investment<br>Danske service acct #4777825860 DKK | 20,155.13 | | **150.407,67 DKK**<br>(Savings account with fixed interest 0,4% to 04.09.2015) |
| Accounts Receivable (Dec. 31 2015) | 600 | | Balance Buenos Aires meeting acomodation Dues from Board members |
| | 394 | | ILP recovery from JEMCA participants |
| | 300 | | ILP participation fee unpaid ATLATEC |
| | 1335 | | Uncollected Membership fees from 2015 |
| Accounts Payable to Budget 2015 (Dec. 31 2015) | | -4,000 | 4th quarter secretariat invoice |
| | | -1165 | Balance from Buenos Aires meeting to be paid to CALIBA |
| TOTAL | 65,818.90 | -5165 | |
| NET ASSETS (Dec. 31 2015) | **60,653.90** | | |

CANCELLATION MRS ADEEKO

| DIFERENCES FOR CANCELLATION OF MISS ADEEKO | EUROS |
|---|---|
| TRANSFER MADE ON AUGUST 21 FOR HOTEL RESERVATION | $ 1,904.91 |

| HOTEL BOARD MEETING EXPENSES | |
|---|---|
| FINAL EXPENSES FOR HOTEL ROOMS | 1629 |
| CANCELLATION EXPENSES | 21 |
| TOTAL EXPENSES | 1,650.00 |

| | |
|---|---|
| DIFERENCE | 254.91 |

COMUNICATE IT TO TREASURER
DISCOUNT IT FROM SECRETARIAT

## BALANCE INVOICES/ EXPENSES DR. FDEZ 2015

| ITEMS PAID BY DR. FDZ: | | BILLS TO BE COVERED BY DR. FDZ: | |
|---|---|---|---|
| 1. WEDNESDAY DINNER FOR BOARD MEMBERS AND COMPANIONS | 367.58 | INVOICE FOR SOCIAL EVENTS IN BUENOS AIRES OF MR. AND MRS. FDEZ | 708 |
| 2.- PRESENTS GIVEN TO : | | | |
| CALIBA´S SECRETARY | 33.2 | | |
| CALIBA´S PRESIDENT | 12.9 | | |
| 3.- SECRETARIAT OFFICE EXPENSES FOR 2015 | 202.71 | INVOICES FOR 2015 MEMBERSHIP FROM LAB. PA AGUAS OF BRASIL AND LABMEETING FEE PAID BY MS. JOSEAN OCTAVIANI IN BUENOS AIRES IN CASH TO DR. FDEZ | 255 |
| TOTAL | 616.39 | | 963 |
| FINAL BALANCE TO BE PAID BY DR. FDZ: | | | 346.61 |
| ADDITIONAL AMMOUNT TO BE PAID | | Diference cancelation Mrs adeeko | 254.00 |
| | | TOTAL | **600.61** |

Balance Acomodation dues from B. Meeting at 31 dec 2015

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

FOUNDED 1961

資料H

*Governing Board and Working Group Meetings*

*JW Marriott Hotel New Delhi Aerocity*

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS

PROUD SUPPORTER AND ILAC STAKEHOLDER MEMBER

# THE 2016 UILI LABMEETING

## *Meet and Greet the stakeholders*

*ILAC-IAF Joint Annual Meetings*
*October 26th - November 5th 2016*

**OCTOBER 27TH - 28TH 2016, NEW DELHI, INDIA**

UILI *Welcome at the 2016 UILI LABMEETING*

*Dear laboratory friend,*

*It gives me great pleasure to invite you to attend the '2016 UILI LABMEETING – Governing Board and Working Group Meetings' that the International Union of Independent Laboratories (UILI) will organize on October 27 and 28, 2016 in New Delhi, India.*

*Our Event will be organized during the ILAC-IAF Joint Annual Meetings and has the purpose to include the possiblity to attend certain parts of the ILAC program. UILI will accommodate a Meet and Greet as one of ILAC oldest supporters straight from the start.*

*Our '2016 UILI LABMEETING' should be seen as an initiative to raise awareness for the importance of the laboratory industry societal level. From this perspective, it also forecasts composite talks: many social and economic aspects of laboratory testing do pass in review by prominent speakers from around the globe. I refer to the website of UILI (www.uili.org). There you can find all information and documentation concerning the activities.*

*UILI members, ILAC-IAF members and other beneficiaries I would like to welcome to our afternoon event and Meet and Greet party. I express the expectation that the '2016 UILI LABMEETING' will give a valuable contribution to the image and authority of the laboratory industry and the ILAC-IAF Joint Annual Meetings in India.*

*Yours sincerely,*

*UILI - Union Internationale des Laboratoires Indépendants*

*On behalf of the Governing Board,*

*Drs L.H.A. Scholtis*
*14th UILI President*

UILI LABMEETING WELCOMES

*The Union Internationale des Laboratoires Indépendants (UILI) is an international organization representing the laboratory industry. Established in 1960, UILI membership includes over 1000 laboratories through Member Associations as well as individual ordinary Members.*

# PROGRAM 2016 UILI LABMEETING

## GOVERNING BOARD AND WORKING GROUP MEETINGS

| Time | Wednesday October 26 | |
|---|---|---|
| 20:00 – 23:00 | **Welcome Dinner** for board members and spouses | |

| Time | Thursday October 27 | |
|---|---|---|
| 09:00 – 10:00 | UILI - Eurolab Working Group Meeting | Spouse program |
| 10:00 – 11:00 | ILP Working Group Meeting | |
| 11:00 – 11:30 | **Coffee break** | |
| 11:30 – 12:30 | ISO 17025 Working Group Meeting | |
| 12:30 – 14:00 | **Lunch** | |
| 14:00 – 15:30 | Governing Board Meeting | Spouse program |
| 15:30 – 16:00 | **Coffee break** | |
| 16:00 – 17:30 | Governing Board Meeting | |
| 20:00 – 23:00 | **Gala Dinner** | |

| Time | Friday October 28 | |
|---|---|---|
| 09:00 – 10:30 | Governing Board Meeting (Continuation) | Spouse program |
| 10:30 – 11:00 | **Coffee break** | |
| 11:10 – 12:30 | Governing Board Meeting (Continuation) | |
| 12:30 – 14:00 | **Lunch** | |
| 14:00 – 15:30 | ***Meet and Greet the stakeholders***<br>UILI LabMeeting 2016 open to ILAC Members and beneficiaries | Spouse program |
| 15:30 – 16:00 | **Coffee break** | |
| 16:00 – 17:30 | ***Meet and Greet the stakeholders***<br>UILI LabMeeting 2016 open to ILAC Members and beneficiaries | |
| 20:00 – 23:00 | **Meet and Greet Diner** | |

| Time | Saturday October 29 |
|---|---|
| 08:30 – 17:30 | **Excursion** |

| Time | Sunday October 30 - November 5 |
|---|---|
| | **Check out / Possibility to attend ILAC-IAF Meetings as an observer** |

UILI *Meet and Greet the stakeholders*

## 2016 UILI LABMEETING SPONSORS

### DATE AND PLACE

Friday October 28th, 2016 (from 2:00 PM to 5:30 PM) at the JW Marriott Hotel New Delhi Aerocity in New Delhi, India (500 metres from the airport).

### REGISTRATION

Interested parties can register until October 1, 2016 as a participant through online registration form via the website UILI: www.uili.org or by sending an e-mail to the UILI secretariat (secretariat@uili.org).

### COSTS

- € 150,00 (€ 75,00 excluding Gala dinner)

### CALL FOR SPONSORS

Given the worldwide nature and perspective of this meeting, we consider it to be a good opportunity for international suppliers to the laboratory sector to be represented in such a relevant event. For this reason if your company is interested in being one of our main sponsors, together with other influential companies from our sector please contact us by sending an e-mail to secretariat@uili.org and we will provide you all the information about it.

### ABOUT UILI

The Union Internationale des Laboratoires Indépendants is the worldwide organisation for independent testing and calibration laboratories and for independent consultancy organisations.

Besides receiving regular information on developments of interest to members, their interests are represented at international forums such as ILAC, ISO and UNIDO.

The Union Internationale des Laboratoires Indépendants was registered in France in 1961 as an international association of independent laboratories and consultants. UILI operates under the terms of its Constitution adopted, under its current form, by the 26th General Assembly held in Buenos Aires on September 17, 2015.

A Governing Board, elected by the Ordinary Members through their Member Associations, exercises policy control over all UILI activities. Independent Laboratories and consultants may enjoy membership of UILI either through membership of a Member Association, itself being recognised by UILI, or by individual non-affiliated ordinary membership.

The Constitution permits ordinary membership within a country that has a recognised Member Association. In addition, to accommodate the breadth of scientific disciplines that seek membership of UILI, the constitution permits more than one Member Association per country.

*The present membership represents over one thousand laboratories offering a diverse range of laboratory testing and consulting services. UILI has members throughout Europe, North- and South America, Africa and the Middle and Far East.*

UILI ■ PARIS ■ FRANCE
WWW.UILI.ORG ■ INFO@UILI.ORG
DEN DANSKE BANK ■ BIC: DABADKKK ■ IBAN

資料I

**From:** olasubomi adeeko
**Sent:** Tuesday, March 29, 2016 2:06 PM
**To:** UILI SECRETARIAT
**Cc:** PRESIDENT (UILI) ; Dr. Mitsuko Yasoshima
**Subject:** UILI ISO 17025 SUMMARY REPORT

Dear Melissa , please find below a summary of the 4th MEETING of ISO/CASCO WG44 on Revision of ISO/IEC 17025:2005 Conformity assessment – General requirements for the competence of testing and calibration laboratories held on 16-19 February 2016 in Pretoria, South Africa
Host: South African Bureau of Standards (SABS) and organizing: National Laboratory Association (NLA)

1. UILI Representative: Mr. McIntee
2. WG 44 released Committee Draft CD2 due to the number of comments and questions on CD1
3. Ballot opened on 24 March, 2016 and closes on 24 May, 2016
4. Summary of Report in attachment
5. Suggest that UILI ISO/IEC 17025 WG to hold a Skype meeting on Tuesday 26 April, 2016 to review comments on the CD2
6. Completed Ballot document to be updated into the ISO database by 9 May,2016 by Dr.Mitsuko
7. Next Meeting of the Drafting Group (DG) meeting from 11-14 July 2016, in Geneva, at the ISO Central Secretariat premises and WG meeting will hold from 20-23 September 2016, in Geneva, at the ISO Central Secretariat premises.

Please review the documents earlier circulated
Regards

Attachment:

# Draft report post 4th WG 44 ISO/IEC 17025 revision meeting

| S/N | Clause | Summary of meeting report on CD 1 |
|---|---|---|
| | Introduction | i. Sampling: WG agreed standard to be applicable to organisations that perform Sampling only Revised several requirements of ISO/IEC 17025 to refer to Sampling.<br>New wording for Scope & subsequent clauses.<br>ii.Reorganisation /Restructuring of the standard. Not agreed.<br>Some proposed to maintain the structure and organization in current version of ISO/IEC 17025 and others prefer to align with CASCO structure.<br>iii. Risk Based was partially Agreed .Proposed to include a clause for Risk assessment in clause 8.5 |
| 1 | Scope | i. New wording for scope include the use of the term laboratory activities throughout the document instead of test and /or calibration activities<br>ii. Accepted to elaborate the definition of laboratory in clause 3, where sampling is defined as part of the laboratory activities.<br>iii. Where sampling applies, it will be defined as part of the laboratory activities. |
| 2 | Normative references | |
| 3 | Terms Definitions | i. To define and use the term laboratory activities, throughout the standard in the broader sense that can mean calibration, testing or sampling, in line with the new definition of laboratory in section 3.9<br>ii.To delete the definition of method from section 3 and make an explanatory note the first time the term appears in the standard<br>iii. The terms policy, procedures, processes were |

| | | |
|---|---|---|
| | | inconsistently used throughout the text. |
| 4 | General Requirements | i. Impartiality : The WG agreed that no further explanation was needed in the standard to clarify the difference between independence and impartiality.<br>ii.ISO documents & guides to be referenced only where necessary<br>iii.Annex with a nominal cross-reference to ISO 9001:2015 & ISO/IEC 17025:2005 to be discussed later |
| 5 | Structural Requirements | **Clause 5.3 :Partially agreed to provide clarification on scope of subcontracting operations and services** |
| 6 | Resource Requirements | i. To use Laboratory Management throughout the document<br>ii.Under clause 6.3. Combined laboratory facilities and environmental conditions.<br><br>iii. Rewording of Clause 6.5- Externally provided products and services concluded and incorporated in the CD2.<br><br>iii. Metrological traceability: Clause 6.6 was refined along with the Annex A on metrological traceability to remove the concern on the emphasis put on SI units and the exclusive use of certified reference material producers (RMPs) in agreement that not all measurements are traceable to the SI and that certified and non-certified (RMPs) can be used. |

Attachment:

# Draft report post 4th WG 44 ISO/IEC 17025 revision meeting

| | | |
|---|---|---|
| 7 | Process Requirements | i. Sampling : WG agreed to revised Standard to be applicable to organizations that perform Sampling only without testing &/or calibration.<br>Revised several requirements of ISO/IEC to refer to sampling.<br>ii.Analysis of results: The wording of clause 7.5 Analysis of results. was reviewed and adapted<br>iii.Complaints : To delete wording in the current 7.10.6 as not applicable to laboratories: The outcomes to be communicated to the complainant shall be made by, or reviewed and approved by, individual(s) not involved in the original laboratory activities in question.<br>The mandatory CASCO wording will be deleted in CD2 and the case made to CPC in May. |

| | | |
|---|---|---|
| | | |
| 8 | Management Requirements | i. Risk Assessment clause 8.5 : The WG agreed to address the issue of risk in laboratories' activities in a new clause under section 8.<br>ii. Internal Audit requirements stated in Clause 8.8 with reference to ISO 19011<br>iii. Requirements for Management Review stated in Clause 8.9 |

資料J

# Template of liaison organization report

## ISO/REMCO

### 2016 Annual Report from Liaison Organization

Report should be submitted to He Ping, at heping@cnas.org.cn and remco@iso.org

## Before 30 April 2016

**Last meeting: Pretoria, South Africa, 9-12 June 2015**
**Next meeting: Ekaterinburg, Russia, 14-16 June 2016**

| |
|---|
| **Reporting Organization:**<br>**Author(s) of report:**<br>**Date: April 27, 2015** |
| **Documents related to reference materials published since the last ISO/REMCO meeting:** |
| |
| **Meetings: Conferences/symposia/workshops of interest to ISO/REMCO:** |
| |
| **Future planning: New documents (planned revisions or new) and/or meetings of interest to ISO/REMCO:** |
| |
| **Other information of interest to ISO/REMCO** |
| |

# 資料(和訳)

資料A

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

# Union Internationale des Laboratoires Indépendants

## 2016 年第 1 回 役員会

## 2016 年 4 月 12 日（水）

## Skype 会議

## 開始時間

| 協会名 | 役員会 | 国 | 現地時間 | Skype アドレス |
|---|---|---|---|---|
| VRS | ルーク・ショルティス博士<br>会長 | オランダ | 14:00 | luc_scholtis |
| AELI | マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士<br>前会長 | スペイン | 14:00 | manahen.fernandez1 |
| RELACRE | アルバロ・シルバ・リベイロ博士<br>副会長（上席） | ポルトガル | 13:00 | relacre |
| AELI | ジョルディ・オリバー・ロデス<br>副会長 | スペイン | 14:00 | jordi.oliver.rodes |
| JEMCA | 松村徹博士<br>財務担当 | 日本 | 21:00 | vaio-z21 |
| IPAN | マリアンヌ・アデコ氏<br>事務局長 I | ナイジェリア | 13:00 | subomi.adeeko |
| CALIBA | ホラシオ・デナリ博士 | アルゼンチン | 9:00 | Horadenari |
| CALIBA | マルタ・サンチョ氏 | アルゼンチン | 9:00 | m_sancho |
| CCIL | ギブ・マケンティ氏 | カナダ | 08:00 | gilbert.mcintee |
| CCIL | ダーウィン・リューバー氏 | カナダ | 08:00 | |
| IPAN | フェミ・オイリダン博士 | ナイジェリア | 13:00 | femola971 |
| JEMCA | 田中正廣氏 | 日本 | 21:00 | |
| VRS | ハンス・JHF・ファンデルワルト博士 | オランダ | 14:00 | hansvdwart |
| RELACRE | ホセ・ロセイロ博士 | ポルトガル | 13:00 | relacre |
| AELI | ジョルディ・オリバー・ロデス氏 | スペイン | 14:00 | jordi.oliver.rodes |
| 非協会会員代表（北半球） | ヤン・ソレス氏 | ベルギー | 14:00 | jan.soers |
| 非協会会員代表（南半球） | アルフレド・モンテス・ニノ博士 | ブラジル | 9:00 | montesninio |
| 事務局 | メリッサ・フェルナンデス・バレロ氏<br>事務局 | スペイン | 14:00 | melissafeva |

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
國際聯盟的獨立實驗室
国際独立研究所連合

# アジェンダ

## 2016 年第 1 回役員会

## 2016 年 4 月 12 日（水）

1. 出席者の歓迎
2. 欠席の連絡（いれば）
3. アジェンダの承認
   - 3.1. 議事録の確認と承認
   - 3.2. 2015 年 9 月 16 日ブエノスアイレス開催、2015 年第 2 回役員会
   - 3.3. 2015 年 9 月 17 日ブエノスアイレス開催、第 26 回総会
   - 3.4. 2016 年 3 月 29 日、1 月 26 日開催、幹部会
   - 3.5. 議事録に係る懸案事項（アジェンダ外）
4. 財務報告
   - 4.1. 2015 年損益計算書、貸借対照表
   - 4.2. 債券再投資
5. インド・ニューデリー開催予定の 2016 年第 2 回役員会に向けての準備
   - 5.1. 2016 年 10 月 27 日、28 日のプログラム素案
   - 5.2. LabMeeting 2016 – ステークホルダーとの交流 (ILAC/IAF)
6. 会員勧誘活動
   - 6.1. UILI 広報活動と関係文書更新
   - 6.2. 試験所協会のリスト
   - 6.3. 175 のインド試験所のリスト
   - 6.4. AOIL – インド、インド試験所協会
   - 6.5. NLA – 南アフリカ、全国試験所協会
   - 6.6. ALPIC – コロンビア、コロンビア独立試験所協会
7. ILP 委員会　2016-2017ILP 経過報告
8. 加入団体活動、ワーキンググループ活動報告
   - 8.1. ILAC – LLC WG - フランクフルト

8.2. ISO/CASCO - ISO 17025 WG 報告

8.3. EUROLAB - UILI-EUROLAB WG 報告

8.4. ISO/REMCO、エカテリンブルグ

8.5. 今後の会議予定

8.6. 2017 年第 1 回 -2017 年 4 月 11 日 – skype 会議

8.7. 2017 年第 2 回 – 2017 年 9 月 21 日

9. その他（会長承認）

10. 閉会

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABO
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEP
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料B

**Union Internationale des Laboratoires Indépendants**
**2015 年第 2 回役員会議**
**2015 年 9 月 16 日(水)**
**於・CALIBA 本部（アルゼンチン、ブエノスアイレス）**

**14:00 開始**

**1. 出席者を歓迎**

出席者:

マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士、会長

ルーク・ショルティス博士、事務局長

松村徹博士、UILI 財務担当

田畑彰久博士、元会長田畑博士の代理としていであ㈱より参加

アルバロ・シルバ・リベイロ博士、RELACRE 会長

ホラシオ・デナリ博士、Caliba 会長

マルタ・サンチョ氏、Caliba 事務局

招待ゲスト:

ジョジアーヌ・オクタビアニ氏、PA LABORATORIO DE AGUAS de Brazil

アルフレド・モンテス・ニノ氏、MICROBIOTICOS GROUP 代表

ジョージ・アウベス博士、 MICROBIÓTICOS Uruguay

フェルナンデス博士は出席の役員を歓迎し、UILI を代表してアルゼンチンの独立系試験所協会の CALIBA 会長ホラシオ・デナリ博士へ、ブエノスアイレスにおける本会議および関係行事の運営協力に感謝を述べた。

また、会議へご招待したゲストへ歓迎の言葉を述べた。

本会では、重要な課題がいくつかあるが、時間に限りがあるため、各議事は最低限の時間でできるだけ早く進めたいとのこと。

次の議事へ移った。

**2. 欠席のお詫び（あれば）**

以下の方々より欠席の連絡があった：

田畑日出男博士、前会長、いであ、日本

ギブ・マケンティ、副会長、CCIL、カナダ

ジョルディ・オリバー・ロデス、AELI 会長、スペイン

ハンス・ファンデル・ワルト博士、VRS 会長、オランダ

オインディラン博士、IPAN 会長、ナイジェリア

マリアンヌ・アデコ氏、IPAN、ナイジェリア

また、UILI 事務局メリッサからも欠席の連絡があり、ご主人が長期の海外出張で、当会中に育児の手伝いが見込めないためで、飛行機や宿泊については無償で取り消すことができたとのこと。

**3. アジェンダの承認**

フェルナンデス博士より、本日のアジェンダは全員へ配布済みであることが説明され、議事の追加や修正意見等について確認された。

修正意見はなく、アジェンダは承認された。

**4. 会長からの報告**

フェルナンデス会長は、自身がバルセロナ開催の総会で提案した UILI の戦略計画に係る、前回会議から本日までの活動報告に触れた。

過去 4 年間の会長在任中、ACIL 事務局によってもたらされた混乱から立て直すため様々なことに挑戦し成功を収めてきたと述べた。2012～2013 年の第 1 期では前職での業務があり、また、前事務局が UILI の成長につながる活動にあまり協力的でなかった 1 年であったのに対し、2014～2015 年の第 2 期では UILI のために多く時間を割くことができ、事務局メリッサとうまく連携をとれ、また、引き続き Labwing 社の協力によって UILI 運営管理に良い成果を出せたものと思っていると述べた。

CALIBA 事務所のインターネット環境に問題があったため、行動計画の概要報告は、メリッサが用意したプレジではなく、彼女が別途用意していた資料（スライド）を用いて発表された。2014 年および 2015 年の活動報告は次の通り。

**会員:**

1. 世界数千事業所が登録されている分析事業所のデータベースを作成した。

2. UILI の紹介と、会員特典について英語とスペインで配信した。

3. 新規入会の報告。

- 3 協会:
  - RELACRE （ポルトガル） 2012/13
  - IPAN （ナイジェリア）
  - CALIBA （アルゼンチン）
- 5 非協会事業所:
  - EKOSMYRNA
  - NESTEC
  - FRALS TESTING
  - MICROBIÓTICOS URUGUAY
  - MICROBIÓTICOS PARAGUAY
  - MICROBIÓTICOS BRASIL
  - PA LABORATORIO DE AGUAS

**財務:**

- 収入:

1. UILI 会費により実収入が増加した

2. UILI は LABMEETING 行事への協賛金として収入があった

3. UILI は ILP による減益があった ⬇

4. 債券の利率が下がった ⬇

- 支出:

1. UILI は事務経費を削減した

2. UILI は役員会運営費を削減した

- 財務管理

1. UILI の正味残高が増加した

2. UILI は口座情報を最新のものに更新した

**国際機関との活動:**

1. EUROLAB との間で MOU が締結された

2. UILI 国際機関活動の機会が増えた

- UILI - EUROLAB MOU:
    - ISO 17025 改訂に係る共通意見
    - 世界の分析事業所のデータベース作成
- ISO / CASCO
    - ISO 17025 改訂に係る協会内 WG の設置
    - ジュネーブ開催の ISO WG44 へ UILI から 2 名の派遣
- ILAC
    - UILI は ILAC 会員、および LLC 委員を継続

**内部組織:**

1. UILI は非協会会員から役員の候補者を出す

2. 役員は UILI WG へ積極的に参加している

3. 17025、ILP、および UILI-EUROLAB WG が設置された

4. UILI 本部はまだ存在しない

**UILI 内部組織:**

1. ウェブサイト

2. ニュースレター

3. ワーキンググループ

4. ILP

5. LABMEETING

| |
|---|
| プレジによる報告はこちらへ<br>https://prezi.com/njknoa3c8ih2/prezi-results-201415-term/ |

フェルナンデス博士は、上記の活動についてまだ多くの作業があり、UILI が世界で独立系分析事業所の国際協会としての認識を高めるためにも継続して行うことが重要であると添えた。

**5. 2015 年 4 月 15 日 Skype にて開催された 2015 年第 1 回役員会議事録の承認:**

フェルナンデス博士は、議事録はメリッサから数カ月前の適切な時期と、役員会議数日前の２度にわたって配信され意見の有無を確認しているが、ここで、追加意見等は無いか確認した。

唯一あった JEMCA からの修正意見は反映済であることを添えた。

他に意見はなく、議事録は承認された。

**6. 前回会議からの懸案事項（アジェンダ外）:**

JEMCA ウェブサイトに他の UILI 役員の所属会社のウェブサイトのリンクを掲載する件のその後の進展について、フェルナンデス博士からショルティス博士へ確認された。

ショルティス博士と松村博士の間でしばらく議論が交わされたが、時間が限られていることから、フェルナンデス博士から会議に遅れが生じるため本件については二者間で協議することが提案された。

ショルティス博士は、ここで具体的な提案を出さなければまた未解決の案件になると述べた。その後ショルティス博士と松村博士は議論を続け、結果、JEMCA と UILI のウェブサイトのリンクを掲載する手順を決めるところまで決まった。

**7. 事務局からの報告:**

フェルナンデス博士は本報告については、先に発表した資料（スライド）にその殆どが含まれていることに触れ、ここ半年で事務局が行った事項をいくつか挙げた。

a. 協会会員、非協会会員の勧誘:

メリッサは通常の事務業務に加え、事業所のデータベース作成に多くの時間を費やした。また、ラテンアメリカ諸国の事業所何カ所かに UILI の情報を配信したとのこと。

フェルナンデス会長は、UILI が世界各国で注目されるために、これら作業が重要であることを強調した。

半年間で事務局が行ったその他の作業は以下の通り。

b. 第 9 回 ILP 補助

c. ブエノスアイレス会議準備: 事務局は、ここ数カ月の間、LABMEETING 運営と広報宣伝に係る作業に多くの時間を費やした

d. ワーキンググループ補助: 事務局はこれまでに引き続き、17025、UILI-Eurolab 等ワーキンググループの Skype 会議運営、アジェンダ・議事録作成、情報配信等をによりワーキンググループ運営の補助を行った。

e. 財務: 帳簿管理、請求書発行と、最近は未払い会費の催促を行った。会費支払い状況については、役員用サイトより確認可能とのこと。

**8. 財務担当報告:**

財務担当松村博士から財務諸表に沿って報告がなされ、2014 年の財務諸表・帳簿を確認したが、問題はなかったとのこと。

8.1 2015 年 8 月 25 日現在財務諸表

フェルナンデス博士は本財務諸表について発表し、本年は黒字を見込んでいると述べた。

8.2 2016 年、2017 年予算案:

フェルナンデス博士より、2016 年と 2017 年の予算案が発表され、これは次回総会にて承認予定とのこと。

ショルティス博士は、予算案は内容が楽観的で、2016 年の協会会員からの会費収入が 19,600 ユーロというのは高く、また、2016 年、2017 年ともに収益の見込み額が高いように感じると述べた。

それに対し、フェルナンデス博士は、19,600 ユーロは協会会員会費の実績であり、予測値ではないと回答した。

松村博士が会費収入の合計が誤っていることを指摘し、フェルナンデス博士はそれを確認、訂正を申し出た。

ショルティス博士は、予算は後で修正を加えるよりも、厳しく見積もった方が良いことを繰り返した。

それを受け、フェルナンデス博士はスポンサー料として見積もっていた 2,000 ユーロを削除し、予算案は以下の通りとなった: （別途資料）

【和】5-UILI 2016-17MODIFIED.x

8.3 UILI 口座変更の提案

フェルナンデス博士は、本件については過去に役員会で議論を重ねているが、法的な理由で未解決となっていたと述べた。これまでの話だと:

- 問合せに対する回答が大変遅い.
- 手数料が大変高い.
- 投資に関してアドバイスが的確ではない

ショルティス博士は、今、ヨーロッパの銀行は投資へのアドバイスを提供できないと補足した。ショルティス博士は、銀行を変更するには規約の譲渡証書が必要だが、現時点では本資料が手元にないことと、必要であれば作成可能であることを述べた。また、銀行口座管理にはネットバンキングが便利であることを加えた。

フェルナンデス博士は、ダンスケ銀行の利用を継続し、ネットバンキングを利用するショルティス博士の案に同意した。

**9. 事務局長からの報告**

ショルティス博士は事務局長からの報告は発表資料を用意したものの CALIBA 事務所でのインターネット環境が不調で発表できないため、総会で行うと述べた。

**10. アルゼンチン、ブエノスアイレスでの総会および LABMEETING の計画:**

10.1 ブエノスアイレス会議のプログラムと場所

【和】BUENOS AIRES BOARDMEE

フェルナンデス博士は、ブエノスアイレス会議の計画を発表については、CALIBA 事務局のマルタの助けを借り、、この場で各イベント会場が確認された: 総会、LABMEETING、夕食会、ラボツアー、ソーシャルイベント等。

10.2 総会

10.2.1. 役職員の交代:

フェルナンデス博士は UILI 規約 条項 5.2.2 総会「役員会の推薦により役員の中から会長を選任する。会長は次の総会まで務め、通常 2 期以上連続して行わない」

「次期会長は同じ会員協会から出ることはできない。」に触れた。

フェルナンデス博士は本会の最重要課題の一つが、次期役員候補を選出し翌日の総会で投票することであると説明した。

フェルナンデス博士は、過去 20 年間に渡って役員を務めた経験から、会長の任期は田畑会長の 3 年を除いて 2 年であることを述べた。UILI の規約に則り、総会ではスペイン協会の AELI 以外から候補者を出すとのこと。彼は、会長職に就くに相応しい経験をもつ役員を何名か挙げた。:

アルバロ・シルバ博士
松村徹博士
ルーク・ショルティス博士
ギブ・マケンティ氏

次いで、フェルナンデス博士は各候補者に意見を聞いた:

アルバロ・シルバ博士は、自身は EUROLAB 会長に就任したばかりで、現時点では UILI の会長になることは適切ではないと考えており、引き続き UILI-EUROLAB MOU 改善に力を尽くしたいと述べた。

松村博士は UILI の新会長になることは大変光栄なことではなるが、現在 JEMCA 副会長を務めていることからタイミングが良くないと答えた。

ショルティス博士は、本件はフェルナンデス会長と候補者の間で事前に協議を行っていることを述べた。彼は UILI の事務局長職を継続することを望んでいたが、フェルナンデス会長が会長退任を希望していることと、現時点で他の候補者が会長職を受けられないことから、事務局長の任期を終えその後任者がいることを条件に、UILI 会長職を受けると述べた。

ここで、フェルナンデス博士は、新役員について以下の通り提案した。:

- 会長: ルーク・ショルティス博士（VRS、オランダ）
- 前会長: マナヘン・フェルナンデス（Ecosur、スペイン）
- 副会長: アルバロ・シルバ・リベイロ博士（RELACRE、ポルトガル）、ジョルディ・オリバー・ロデス氏（AELI、スペイン）
- 事務局長: マリアンヌ・アデコ氏（IPAN、ナイジェリア）
- 財務担当: 松村徹博士（JEMCA、日本）

本件は提議、賛成され、全役員一致で承認された。:

非協会会員について、フェルナンデス博士は 2 名候補を挙げて全非協会会員へ配信し投票を受け付けていると述べた。いくつかの事業所から回答があり、役員会の決定に従うとの内容だった。

ここで、フェルナンデス博士は候補者 2 名を、ヤン・ソレス氏、アルフレド・モンテス・ニノ博士を紹介した。: ソレス氏はベルギー試験所協会 UPLEAR の代表であったことから役員の間ではよく知られている人物である。2 年前に協会が消滅したことで役員の職を退き、自身の事業所 GEOS は UILI の非協会会員として会員を継続している。次いで、アルフレド・モンテス・ニノ博士の履歴書が配布され、そこに記されている内容から南アメリカの試験所業界における豊富なビジネス経験が伺え、また、フェルナンデス博士が何度か会話を交わした様子では自国での試験所協会設立に大変興味を持っているとのことであった。

ショルティス博士は、現在の UILI 規約では、非協会代表を 1 名とすることを避けていると述べた。彼はフェルナンデス博士と異なる国から候補者を 2 名以上出すことについて協議した。よって、この 2 名を候補者として総会で提議し、追って現在の UILI 規約に修正を加えたいと述べた。

ショルティス博士の提案は承認された。

**11. 会員勧誘活動**

11.1 新規会員
11.2 試験所一覧
11.3 UILI 宣伝活動

フェルナンデス博士は、本議題については事務局からの報告で済ませたと述べた。

**12. 第 9 回 ILP 経過報告: （簡単な報告）（松村博士）**

フェルナンデス博士は、本件について総会と、金曜日に行われる UILI ILP ワーキンググループにて取り上げると述べた。

**13. 加入団体の活動報告**

13.1 ILAC/IAF （国際試験所認定協力機構）（松村博士）
13.2 ISO/CASCO （国際標準化機構）
13.2.1 17025UILI 内 WG からの報告 （アデコ氏）

（詳細は金曜日の UILI ILP【修正案：17025】ワーキンググループにて報告予定）

13.3 UILI-EUROLAB WG 報告（シルバ博士）

フェルナンデス博士は、本件詳細は総会と、金曜日に行われる関係ワーキンググループにて取り上げると述べた。

**14. 協会会員および非協会正会員からの報告**

14.1 JEMCA （日本）
14.2 AELI （スペイン）
14.3 CCIL （カナダ）
14.4 VRS （オランダ）
14.5 RELACRE （ポルトガル）
14.6 CALIBA （アルゼンチン）
14.7 IPAN （ナイジェリア）

フェルナンデス博士は、これら報告にかかる時間を考慮して、資料をウェブ上に掲載、総会にて短いプレゼンテーションを行うと述べた。

**15. 2016 年、2017 年役員会の日にちと場所**

2016 年第 1 回： Skype テレビ会議 – 2016 年 4 月
2016 年第 2 回: 役員会 – 2016 年 9 月にカナダもしくはオランダ開催。後日、ショルティス博士からマケンティ氏へ打診予定。

**16. その他（会長承認）**

フェルナンデス博士は、その他議事は特にないと述べた。

**17. 閉会**

フェルナンデス博士は、役員一同へ会議出席のお礼を述べた。

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LAB
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDE
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料C

**Union Internationale des Laboratoires Indépendants**
**第 26 回総会**
**2015 年 9 月 17 日(木)**
**於・アルゼンチン・ブエノスアイレス、 Auditorio del IRAM**
**8:30 開始**

## 1.0 会議開催通知の承認

フェルナンデス博士は、本総会の開催通知はウェブで公開、また、前回のニュースレターに掲載されていることを報告した。

## 2.0 出席者の確認

**出席者:**

**役員**:

マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士、会長

ルーク・ショルティス博士 – 事務局長

松村徹博士- UILI 財務担当

田畑彰久博士 – いであ、元会長田畑日出男博士の代理として

アルバロ・シルバ・リベイロ博士 – RELACRE 会長

ホラシオ・デナリ博士 - Caliba 会長

**その他 UILI 会員:**

ジョジアーヌ・オクタビアニ氏、PA LABORATORIO DE AGUAS de Brazil 社

アルフレド・モンテス・ニノ氏、MICROBIOTICOS GROUP 社長

ジョージ・アウベス博士、MICROBIÓTICOS Uruguay 社

アルゼンチン協会 CALIBA 会員数名

マルタ・サンチョ氏 - Caliba 事務局

フェルナンデス博士は出席者一同を歓迎し、アルゼンチン独立系試験所協会である CALIBA 会長のホラシオ・デナリ博士に代わり、ブエノスアイレス会議運営への協力にお礼を述べた。

次の議事に移った。

**3.0 欠席のお詫び（あれば）**

次の方々から欠席のお詫びがあった:

- 田畑日出男博士、元会長、IDEA 社、日本
- ギブ・マケンティ氏、副会長、CCIL、カナダ
- ジョルディ・オリバー・ロデス、AELI 会長、スペイン
- ハンス・ファン・デル・ワルト博士、VRS 会長、オランダ
- オインディラン博士、IPAN 会長、ナイジェリア
- マリアンヌ・アデコ氏、IPAN、ナイジェリア

更に、UILI 事務局メリッサから欠席のお詫びがあったことを述べた。

**4.0 会員とゲストの紹介**

フェルナンデス博士は出席者へ、自身の所属とともに自己紹介することを促した。

**5.0 アジェンダの承認**

フェルナンデス博士は、アジェンダは事務局より配信された旨を説明し、修正等意見の有無を確認した。

特に意見等はなく、アジェンダは承認された。

**6.0 2013 年 11 月 29 日スペイン・バルセロナ開催の第 25 回総会の議事録の承認**

フェルナンデス博士は、2013 年にバルセロナで開催された第 25 回総会の議事録は事務局より e メールにて配信済だが、特に修正等の意見は寄せられなかったと述べ、本日意見がないか確認した。

特に意見等はなく、議事録は承認された。

**7.0 前回総会からの懸案事項**

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

フェルナンデス博士は、2 年前バルセロナにて役員へ通知した件で、パリ会議において ACIL との論争について法の専門家への相談を検討することになっていたことに触れた。第 24 回総会で、マケンティ氏が ACIL の責任者に連絡をとって直接交渉することを提案したが、あいにくマケンティ氏は本日欠席しているため、経過を知ることができないと述べた。

**8.0　第 13 代 UILI 会長 フェルナンデス・アロンソ博士からの報告**

フェルナンデス会長は、自身がバルセロナ開催の総会で提案した UILI の戦略計画に係る、前回会議から本日までの活動報告に触れた。

過去 4 年間の会長在任中、ACIL 事務局によってもたらされた混乱から立て直すため様々なことに挑戦し成功を収めてきたと述べた。2012～2013 年の 1 期目では自身の前職での業務があり、また、前 UILI 事務局が UILI の成長につながる活動にあまり協力的でなかった 1 年であったのに対し、2014～2015 年の 2 期目では UILI のために多く時間を割くことができ、事務局メリッサとうまく連携をとれ、また、引き続き Labwing 社の協力によって UILI 運営管理に良い成果を出せたものと思っていると述べた。

CALIBA 事務所のインターネット環境に問題があったため、行動計画の概要報告は、メリッサが用意したプレジではなく、彼女が別途用意していた資料（スライド）を用いて発表された。2014 年および 2015 年の活動報告は次の通り。

**会員:**

1. 世界数千事業所が登録されている分析事業所のデータベースを作成した。

2. UILI の紹介と会員特典を英語とスペインで配信した。

3. 新規入会の報告。

- 3 協会:
    - RELACRE （ポルトガル） 2012/13
    - IPAN （ナイジェリア）
    - CALIBA （アルゼンチン）
- 5 非協会事業所:
    - EKOSMYRNA
    - NESTEC
    - FRALS TESTING
    - MICROBIÓTICOS URUGUAY
    - MICROBIÓTICOS PARAGUAY

- MICROBIÓTICOS BRASIL
- PA LABORATORIO DE AGUAS

**財務:**

- 収入:

1. UILI 会費により実収入が増加した

2. UILI は LABMEETING 行事への協賛金として収入があった

3. UILI は ILP による減益があった ⬇

4. 債券の利率が下がった ⬇

- 支出:

1. UILI は事務経費を削減した

2. UILI は役員会運営費を削減した

- 財務管理

1. UILI の正味残高が増加した

2. UILI は口座情報を最新のものに更新した

**国際機関との活動:**

1. EUROLAB との間で MOU が締結された

2. UILI 国際機関活動の機会が増えた

- UILI - EUROLAB MOU:
  - ISO 17025 改訂に係る共通意見
  - 世界の分析事業所のデータベース作成
- ISO / CASCO
  - ISO 17025 改訂に係る協会内 WG の設置
  - ジュネーブ開催の ISO WG44 へ UILI から 2 名の派遣
- ILAC
  - UILI は ILAC 会員、および LLC 委員を継続

**内部組織:**

1. UILI は非協会会員から役員の候補者を出す

2. 役員は UILI WG へ積極的に参加している

3. 17025、ILP、および UILI-EUROLAB WG が設置された

4. UILI は正式な本部事務所がない

**UILI 内部組織:**

1. ウェブサイト

2. ニュースレター

3. ワーキンググループ

4. ILP

5. LABMEETING

| |
|---|
| プレジによる報告はこちらへ<br>https://prezi.com/njknoa3c8ih2/prezi-results-201415-term/ |

## 9.0 名誉財務担当松村徹博士からの報告

名誉財務担当松村博士からの報告によると、2014 年の財務諸表は監査を受け、問題は見つからなかったとのこと。

次いで、以下、会長より財務報告があった。:

### 9.1 2013 年 12 月 31 日現在、および 2014 年 12 月 31 日現在の報告

UILI 2013- 2014 Budget (FINAL).xls

### 9.2 2016・2017 年予算および 2016・2017 年会費設定

5 - UILI 2016-17 MODIFIED.xls

予算は提議、承認された。

2016・2017 年会費については議論が行われなかった。

## 10.0 事務局長ルーク・ショルティス博士からの報告

事務局長ルーク・ショルティス博士は、2014-2015 年の自身の活動報告を発表した。発表資料は UILI ウェブに掲載したとのこと。

フェルナンデス博士はショルティス博士へ、活動へのお礼と、会長業務へのサポートにお礼を述べた。

**11.0 UILI 役員会での非協会会員代表選出の報告**

非協会会員について、フェルナンデス博士は 2 名候補を挙げて全非協会会員へ配信し投票を受け付けていると述べた。いくつかの事業所から回答があり、役員会の決定に従うとの内容だった。

フェルナンデス博士は、前日の役員会議で本件について議論し、総会にて規約の変更を提議、承認を得、非協会会員代表について異なる地域からもう 1 名選出することを可能にしたい考えであることを述べた。それからショルティス博士から本総会にて承認を得るための規約の改訂案を説明するよう促した。

ショルティス博士は規約条項 5.6 を挙げ、非協会会員代表に関する記述を読み上げ、「条項 5.6 役員会は、協会会員から最低 1 名と、正会員の代表 1 名で構成される」とある個所について、役員からの改訂案で「条項 5.6 役員会は、協会会員から最低 1 名と、正会員の代表 2 名で構成される」と述べた。

ショルティス博士は本件を提議し、総会出席者一同これを承認した。

承認を得た後、フェルナンデス博士は、役員会で選出された代表 2 名について以下の通り発表した。:

- ヤン・ソレス氏 – GEOS、ベルギー
- アルフレド・モンテス・ニノ博士 – Microbióticos Group, Brazil, Paraguay and Uruguay

総会において規約の改訂案が承認され、候補者 2 名の選出が認められた。

**12.0 第 25【訂正：26】回総会へ提議の新役員案**

フェルナンデス会長は新役員案を提案した。:

- 会長: ルーク・ショルティス博士（VRS、オランダ）
- 前会長: マナヘン・フェルナンデス（Ecosur、スペイン）
- 副会長: アルバロ・シルバ・リベイロ博士（RELACRE、ポルトガル）、ジョルディ・オリバー・ロデス氏（AELI、スペイン）
- 事務局長: マリアンヌ・アデコ氏（IPAN、ナイジェリア）
- 財務担当: 松村徹博士（JEMCA、日本）

これに反対意見はなく、提議、指示され、出席者により承認された。

フェルナンデス博士は新会長を始め新役員の就任を祝した。

新任の会長、ショルティス博士は今回就任にあたり協力していただけたことへのお礼と、組織運営の改善に尽くす準備ができていること、UILI は更なる成長に向け正しい方向性を持っていること、UILI は現在の試験所業界の維持に努めること、会員に向けたサービス向上に努めることを挙げ、サービス向上に関して本日開催されるシンポジウムで考えを発表したいと述べた。

更にショルティス博士は役員に対し、会長を含めまだ誰とも話していない件についてアジェンダに追加したく、その許可を求めた。内容は、フェルナンデス博士の会長在職中の数年間で彼は大変良く務め、組織の印象させも変えたその功績に、事務局長として、次回総会にて名誉会員の称号を与えることを提案し、これを総会に提議した。

提議は動議され、承認された。

フェルナンデス博士はショルティス博士と出席者へ、UILI 会長を務めたことから大変な栄誉であったが、今回の更なる栄誉に、感謝を述べた。続けて、過去 24 年 UILI に携わって感じたのは、UILI や AELI のような試験所協会に係ることが自身の試験所ビジネスに価値を与え、日頃から感じるのは協会活動から試験所経営を学ぶことが多かった、また、多くの大切な友人を得ることができたと述べた。また、国際機関が我々試験所に対し活動ルールを決めている今日のグローバル社会で、協会はこれまで以上に経済界をこれら勢力から守る立場を強め、会長在職中はその役割を果たすのに努めたと述べた。

**13.0 加入協会活動報告**

**13.1 UILI-ILAC/IAF の UILI 代表松村徹博士からの報告**
**13.2 UILI-ISO/CASCO の UILI 代表ギブ・マケンティ氏からの報告**

**13.3 UILI-Eurolab ワーキンググループの UILI 代表アルバロ・シルバ博士から UILI-Eurolab MOU に係る報告**
フェルナンデス博士は、受け取った文書類については本日の配布資料には入れていないが、ウェブに掲載予定であると述べた。明日以降、ワーキンググループを開くので、興味のある会員は出席を歓迎することを加えた。

**13.4. ISO 17025 ワーキンググループ UILI 代表マリアンヌ・アデコ氏からの報告（Skype による参加）**

フェルナンデス博士は、マリアンヌ・アデコ氏が UILI からの登録代表であることと、会議には出席していないが Skype にて報告を行うことが説明された。その後 Skype が接続されたマリアンヌによる報告がなされた。:

UILI ISO 17025UILI 内ワーキンググループは UILI 役員により設置され、協会試験所の意見を集め、EUROLAB 内ワーキンググループと協働し、ISO/CASCO ISO 17025 改訂の会議において可能な限り共通の意見を持つようにしている。

ワーキンググループの会員:
マリアンヌ・アデコ氏（FRALS 社、ナイジェリア） – コーディネーター
アルバロ・シルバ・リベイロ博士（RELACRE 会長、ポルトガル）
松村徹博士（JEMCA、日本）
ルーク・ショルティス博士 — 事務局長
ジョルディ・オリバー・ロデス氏　AELI 会長
ハンス・ファン・デル・ワルト博士 — VRS 会長
および、
ISO/CASCO 17025 改訂会議への UILI 代表:
ギルバート・マケンティ（カナダ） WG44 における UILI 代表
八十島光子博士（JEMCA、日本） WG44 における UILI 代表
メリッサ・M・フェルナンデス・バレロ氏（UILI 事務局）

UILI のメリット：ISO/CASCO ISO17025 改訂会議に出席の UILI 代表は EUROLAB WG と協働して協会の声を届け、ISO/CASCO は UILI の活動への寄与を認識する。
この協力関係は、UILI が将来健全であるために重要で、すべての国際協会の会議において UILI の名前が明確に認識されることになる。

UILI 内ワーキンググループの活動：会議は Skype で行われ、ISO/CASCO WG44 の活動報告がなされ、本 WG への出席者へ UILI からの意見が託された。UILI 内ワーキンググループは EUROLAB 17025 WG と密に連絡をとっており、必要に応じて合同会議が開催されている。

前回 WG44 における UILI の活動は添付資料 1 に記載した。添付資料 2 はそのタイトルは ISO CASCO WG44 への参加と事業計画で、そこには改訂や活動の詳細と UILI の参加の様子が記されている。

今後の活動：ISO CASCO WG44 は委員会原案（CD）を 9 月 18 日までに発行し、全ステークホルダーからの意見を募集する。意見の募集期間は恐らく 4 週間で、UILI は CD を確認し、とりまとめた意見を UILI 事務局へ提出する。注目している個所は条項 7.1.2 のサンプリングで、分析機器や標準物質の共同利用の考え方についてである。その他の分野については別途 WG44 への代表参加者より説明がある。

お礼：フェルナンデス博士および役員へ UILI 内 WG で務める機会をいただけたことに、EUROLAB のイラチェ・ヴィジアス氏、ピーター・ブリンクスビアウ氏、キャロル・スチュワート氏へ UILI 内 WG への協力に感謝の気持ちを述べた、更には、メイッサ・M・フェルナンデス氏をはじめ、UILI 内 WG の全会員に対し、WG の成功の向けての協力にお礼を述べた。

次回会議：2015 年 10 月 15 日が提案された。詳細は追って事務局から通知される。

ここで、ショルティス博士から、役員からのマリアンヌへの事務局長就任案に対し、総会が承認したことが伝えられ、就任への意思が確認された。彼女は感謝を述べ、自身で予期していなかった提案に深く感謝し、これを承知した。

**14.0 委員長松村徹博士から、ILP 委員会報告**

**1.1 第 8 回 UILI-ILP 報告**

**1.2 第 9 回 UILI-ILP 経過報告**

フェルナンデス博士は、本日は時間に限りがあるため、発表できないがウェブ内容はウェブに掲載されると述べた。また、次いで CALIB 事務所で ILP ワーキンググループを行うので、出席を歓迎すると述べた。

**15.0 会員協会からの報告**

**1.3 JEMCA (Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association/一般社団法人日本環境測定分析協会) - 日本 – 松村徹博士**

**1.4 AELI (Asociación Española de Laboratorios Independientes/スペイン独立試験所協会) – スペイン – J・オリバー・ロデス氏**

**1.5 CCIL (Canadian Council of Independent Laboratories/カナダ独立試験所協会) – カナダ - G.G.マケンティ**

**1.6 RELACRE (Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal/ポルトガル認定試験所協会) – ポルトガル – A. シルバ・リベリオ博士**

**1.7 VRS (Vereniging van Raadgevend Scheikundigen/化学試験所諮問協会) –オランダ - J.H.F. ファン・デル・ワルト博士**

**1.8 CALIBA (Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Bromatológicos, Ambientales y Afines / アルゼンチン環境・食品分析独立試験所協会) – アルゼンチン – ホラシオ・デナリ博士**

**1.9 IPAN (Institute of Public Analysis of Nigeria/ナイジェリア国家分析協会) – ナイジェリア - フェミ・オインディラン博士**

フェルナンデス博士は、当議事は内容が多いため発表資料は配布資料には含めておらず、ウェブに掲載すると述べた。また、LABMEETING の発表資料として配布されているものもあるが、時間に限りがあるため当総会で発表することは控え、特に関心のある方はウェブサイトよりプレゼン資料全文をダウンロードすることを勧めた。

**16.0 その他（会長承認）**

その他、議事の追加意見はなかった。

**17.0 2017 年秋開催の第 27 回総会予定**

次回総会は、2017 年 9 月 15 日(金)にオランダにて開催予定。会場は会長が決定予定。

**18.0　会長交代**

フェルナンデス博士は再度新会長の就任を祝し、ここで正式に会長の権限を移行するが、ブエノスアイレス会議の残りの行程を主催者としての責任もあるため事務方を務めることの許可を申し出た。

ショルティス博士は、フェルナンデス博士が本日の残りの時間について会長を務めることを承認した。

**18.0　閉会**

フェルナンデス博士は参加者へ出席のお礼を述べ、会長は 10：09 に会議を閉会した。

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LA
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS IND
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料D

# UILI 幹部会

## 2016 年 3 月 29 日 Skype 会議

出席:

| 国 | 時間 | SKYPE ADDRESS |
|---|---|---|
| ルーク・ショルティス博士 / オランダ / LABWING 社 | 12:00 H | luc_scholtis |
| アルバロ・シルバ・博士 /ポルトガル/RELACRE | 11:00 H | relacre |
| ジョルディ・オリバー氏/ スペイン/ AELI | 12:00H | jordi.oliver.rodes |
| マリアンヌ・アデコ氏/ ナイジェリア/FRALS 社 | 12:00 H | subomi.adeeko |
| 松村博士 (IDEA)/ 日本 / JEMCA | 20:00 H | 欠席 |
| マナヘン・フェルナンデス博士/前会長 | 12:00 H | manahen.fernandez1 |
| 事務局：メリッサ・フェルナンデス・バレロ氏 | 12:00 H | melissafeva |

### 1. 出席者の確認

ショルティス博士は出席者を歓迎した。

オリバー・ロデス氏は、松村博士へ REMCO リエゾン A 資格取得に対しお祝いを述べた。

ショルティス博士はオリバー・ロデス博士に同意し、~~手続き自体は書類をいくつか提出するだけで簡単なものではあるが、~~今回のことは、UILI が取り組むべき活動の一つであると述べた。

### 2. アジェンダの承認

ショルティス博士はアジェンダ案に追加等の意見はないか確認した。

ショルティス博士は、透明性をもたせるため、幹部会の議事録は全役員が閲覧できるようウェブに掲載すると述べた。

全出席者は合意し、アジェンダは承認された。

**2.2 議事録の承認**: ショルティス博士は、前回議事録について、修正等の意見はないか確認した。フェルナンデス氏は、議事録はアジェンダと併せて事前に配信しており、意見は特になかったことを報告した。

オリバー・ロデス氏は、債券の再投資に係る文章「彼はこのことについてあまり知らなかったと述べた。」の削除を依頼し、フェルナンデス氏はその場で修正した。

ショルティス博士は、役員会の日程を 11 月 3、4 日から 10 月 27、28 日へ変更することを加えた。日程は変更された。

ショルティス博士は過去の議事録の結論と作業計画について 1 つずつ読み上げ、再投資について松村博士から提案があったか確認した。フェルナンデス氏はまだ提案はなく、再度確認すると答えた。

修正意見をもって、本議事録は承認された。

## 3. ILP 報告

ショルティス博士は、ILP 案内は UILI データベース内の 2,000 の試験所に向けて、3 回配信されたことを報告した。

今後実施予定の全 ILP への参加者は、現時点で 37 とのこと。UILI から多くの国へ情報を配信したが、これは期待に反する低い値であると述べた。その原因を考え、改善策として JEMCA が用意したような技術情報、例えばプログラムの取得認定や報告書発行日等を募集案内と同時に配信することを挙げた。

ショルティス博士は ILP に係る技術情報の提出があったのは JEMCA のみで、CALIBA や RELACRE も同様の文書を用意することが重要であると述べた。

フェルナンデス・バレロ氏は、両協会へ文書案を送付したことを報告し、シルバ博士に対し、RELACRE の担当者へこれに ILP に係る必要事項を記入することを確認してもらえるよう依頼した。文書が用意でき次第申込者へ配信するとのこと。

フェルナンデス博士は、自身の考えとして、多くの試験所が認定を受けた試験所比較試験を求めている中で、UILI はこれに応じられないことが最も大きな問題であると感じていることを述べた。フェルナンデス博士によると、ヨーロッパと南アメリカのいくつかの国でこの傾向があるとのこと。

これに対し、ショルティス博士は、UILI はこの課題にどう対処すべきか、専門家に相談すべきなのか質問した。

フェルナンデス博士は、現時点では一プロバイダーとしての認定取得を目指し、将来的には UILI がプロバイダーの仲介者として認定を受けられるよう専門家に相談する考えを述べた。

オリバー・ロデス氏は、自身の考えでは、スペインで最も重要視されるのは、プロバイダーが認定を受けていることであると述べた。

ショルティス博士は、規格上、UILI は技能試験のプロバイダーになり得ると述べた。

シルバ博士は、RELACRE は翌年の認定取得に向け準備中であると述べた。

フェルナンデス博士は、先週、マルタ・サンチョ氏から、CALIBA は本年この認定を取得予定で現在その準備中であると聞いたことを述べた。

ショルティス博士は、これらプロバイダーの認定取得情報をウェブ上に公開し、かつ、試験所に配信することを提案した。

3.2 フェルナンデス・バレロ氏は、松村博士からのメールを読み上げた。内容は次の通り：

*“JEMCA は日本国内で参加者を募りました。（中国、韓国、タイも）.*
*参加状況は芳しくありません。*
*次週より、JEMCA は参加者を増やすため、およそ 100 の事業所に直接電話をかけ、参加を呼びかける予定です。*
*現在、ヨーロッパから殆ど参加がない状況です。*
*協会会員の皆様には各国で参加者を集めていただきたく存じます。”*

フェルナンデス・バレロ氏は、募集案内は 3 回配信され、EUROLAB と UILI 協会事務局には直接連絡をとり、会員へ情報を配信してもらえるよう伝えたことを報告した。

オリバー・ロデス氏は、AELI は配信された情報を会員へ通知したが、翌年の予算に含めるため、案内は年内の配信が望ましいとの意見を述べた。

フェルナンデス・バレロ氏は、これらの課題を次週議論するため、ILP WG 開催を提案した。

ショルティス博士は同意し、会議では ILP の財務状況にも焦点を当てることを提案した。

## 4. 2016 ニューデリー役員会:

ホテル:
ショルティス博士は、当初 ILAC 会議場として予定していたマリオットホテルは変更になり、現在変更後のホテルについての連絡を待っている状況であることが説明された。

飛行機:
フェルナンデス・バレロ氏は、ホテルは確定していないが、UILI の会議日程は確定しているので、役員は飛行機の手配を始めることが可能であると説明した。

インドの試験所:
松村博士からのメッセージを次の通り読み上げた:

*“ニューデリーにある、親しい民間試験所に連絡をとりました。*
*この試験所（企業）はインド国内で最大手の分析会社です。*
*4 月上旬には先方から回答がもらえると思いますので、いましばらくお待ちください。*
*回答を受け取り次第、役員へ報告します。”*

UILI/ILAC 会議:
シルバ博士はフェルナンデス氏に、UILI 会議が ILAC 会議と重ならないよう調整する必要があるのと、UILI 役員に関心の高い ILAC 会議もあるため、ILAC 会議のプログラムを入手したか確認した。

フェルナンデス・バレロ氏は、ILAC 事務局へは何度も連絡をとっているものの、ニューデリー会議のプログラムはまだ準備中で、用意でき次第連絡がくることになっていると答えた。

シルバ博士は、自身は、次週フランクフルト開催予定の ILAC LC 会議に参加予定であり、そこでニューデリー会議の情報が得られればフェルナンデス氏へ連絡することを約束した。

ショルティス博士は、シルバ博士に対し、そのフランクフルトの会議で UILI としても参加することと、会議の結果を UILI 役員へ報告することと依頼した。

ショルティス博士は、可能であれば自身もフランクフルトへ行くことを添えた。

## 5. ISO 17025 WG 概要報告:

アデコ氏は、数日前にマケンティ氏に対し、前回 ISO WG44 の報告を受けたい旨 e メールで伝えたものの、まだ回答がない状況ではあるが、八十島博士から情報が送られてきたため、今朝フェルナンデス氏へ、次の要旨を送ったことを報告した：

ISO/IEC 17025:2005 改訂に係る ISO/CASCO WG44 会議
適合性評価 -試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項
2016 年 2 月 16 日～19 日　南アフリカ・プエトリアに於いて開催
主催：South African Bureau of Standards (SABS)
運営： National Laboratory Association (NLA)

1. UILI 代表者：マケンティ氏
2. WG 44 は CD1 へのコメントや質問を元に、CD2 を発行 した
3. 投票は 2016 年 3 月 24 日に開始、2016 年 5 月 24 日に締め切られる
4. 報告の要旨を添付
5. UILI ISO/IEC 17025 WG Skype 会議を 2016 年 4 月 26 日に開催し、CD2 へのコメントを確認することを提案
6. コメント文書は、2016 年 5 月 9 日までに八十島博士が ISO データベースに掲載する
7. 次回 DG 会議は 2016 年 7 月 11 日～14 日ジュネーブの ISO 本部に手開催予定で、WG 会議は 2016 年 9 月 20 日～23 日ジュネーブの ISO 本部にて開催予定

アデコ氏は、4 月 22 日に ISO 17025 WG 会議を開催し、八十島博士から送られてきた文書を確認、次回 WG44 会議に向けての方針を立てることを提案した。

## 6.0 ISO/REMCO:

ショルティス博士は、UILI は ISO REMCO への入会が受入れられ、ロシア・エカテリンブルグで開催予定の次回 REMCO 会議への出席者を決めることが重要だと述べた。また、ISO REMCO を UILI オブザーバーに受入れることの重要性も示し、入会後初の会議に UILI から良い代表者を出すことが重要であると述べた。会議への希望者を確認したが、申し出る者はなく、希望者がいなければ、自身が出席することを申し出た。

フェルナンデス氏は、アルフレド･モンテス･ニノ博士へ確認し、博士は日程上参加が難しいが松村博士が出席できないのであれば調整する考えでいることを報告した。

フェルナンデス氏は、明日、ISO への情報提供者と申込文書の連絡をしなければならないので、当日中にアルフレド博士に連絡をとり、最終的な出欠を確認、ショルティス博士に結果を報告することを約束した。

**7.0**
**会員勧誘活動:**
フェルナンデス博士は、コロンビアの協会と何度か Skype で連絡をとっていて、その協会は UILI への入会に関心を示しているが、現在、国内のより大きな協会と共同で入会するのか、それとも個別に入会するのかについて協議していることを報告した。

フェルナンデス博士はアルフレド･モンテス･ニノ博士から連絡を受け、モンテス・ニノ博士がブラジルの協会と連絡をとっておりその報告を待っている状況であることを報告した。

フェルナンデス氏は、アルフレド･モンテス･ニノ博士から、UILI 入会に関心を持っている中国の企業のアドレスを受け取ったことと、その事業所には本日 UILI に係る情報を発送することを報告した。

フェルナンデス・バレロ氏は、Labwing 社と協力してインドの試験所を UILI データベースに登録する作業を進め、これまでに 150 試験所が集められたことを報告した。ショルティス博士と話した結果、これからは個々の試験所よりも協会に絞って情報を集めることとしたと述べた。彼女は、過去の経験から、試験所協会の情報をインターネット上で探すのは大変難しい作業であると説明した。

アデコ氏はアフリカの試験所宛てに、入会を勧める書簡を用意したことと、他に、National Laboratory Association of South Africa NLA と、その他アフリカ諸国を主なターゲットとした UILI の情報を含めた文書を作成していることを報告した。また、現在ナイジェリアは海外に向けての送金に問題が発生しており、特に IPAN は政府機関であることから支払い問題を抱えていることを説明した。しかし、支払いは近く行うと述べた。

ショルティス博士は、問題の解決に向け、UILI は本件について彼女に一任することを伝えた。

**8.0 結論と作業計画:**

- **議事録:** *幹部会議事録をウェブに掲載する。*
  - **作業:** (フェルナンデス氏)(次週)
    議事録をウェブに掲載する

- **債券**:*債券の再投資について、フェルナンデス氏から松村博士へ、再度支持を仰ぐ*

- **ILP:**
  *次週、ILP WG を開催し、申込期限の延長、ILP 財務、ILP 技術情報、ILP 認定について議論を交わすことが確定した。*

  ➢ **作業:** (フェルナンデス氏)(今週)
    - WG の案内とアジェンダを関係者へ配信する

- **次回役員会:** *ILAC から、変更後のホテルと、プログラムの連絡を受ける。*

  a. *開催地: インド　ニューデリー*
  b. *日にち: 2016 年 10 月 27 日、28 日*

  ➢ **作業:** (フェルナンデス氏)
    - ILAC 、NABL と連絡を取り合う
    - 親しいインドの事業所について松村博士から連絡を受ける
    - シルバ博士から、インドでの連絡窓口に関する連絡を受ける
    - 申込書を作成、役員へ配信する
    - 4 月の LLC 会議（ILAC 試験所委員会）に参加のシルバ博士は UILI 代表としても参加し、会議後には重要議題を事務局へ報告する

- **ISO 17025 WG の活動報告（概要）:**

  *アデコ氏は、CD2 へのコメント期限が 5 月 24 日なため、4 月中に ISO17025WG 開催を提案。*

  ➢ **作業**: (今週)
    - 4 月会議のアジェンダを作成する (アデコ氏)
    - WG メンバーへ、会議開催案内を配信する(フェルナンデス氏)

- **ISO/REMCO:**
  *ショルティス博士は REMCO エカテリンブルグ会議へ UILI から出席者を出すことの重要性を示唆。*

  ➢ **作業:** (フェルナンデス氏)

- アルフレド・モンテス・ニノ博士へ会議出席の可否を確認、結果をショルティス博士へ連絡する.
- UILI.へ、ISO REMCO から 1 名オブザーバーを招待する

- **会員勧誘活動の報告:**
  *フェルナンデス博士はコロンビアの協会 (ASOCIACION DE LABORATORIOS PRIVADOS INDEPENDIENTES DE COLOMBIA ALPIC) と、アルフレド・モンテス・ニノ博士はブラジルの協会(Ass. of Lab for analysis of psychotropic substances) と連絡をとり、UILI への加入を勧めている。*
  *メリッサ・フェルナンデス氏はインドの事業所と、協会の調査を始めた。*
  *アデコ氏はアフリカの事業所の勧誘のため、UILI の情報を送っている。*

  - **作業:**
    - 勧誘協会との交渉を続ける（フェルナンデス博士、アルフレド・モンテス博士）
    - 協会を調査する (フェルナンデス氏)
    - アフリカの事業所に会員勧誘のための情報を配信する (アデコ氏)

- **債券再投資:**

  *これまでの会議で、今の経済不況の状態下ではまだ再投資は行わず、市場の動向を見極め、タイミングをみて低リスクの債券を購入することとしていた。*

  - **作業: (松村博士)**
    - 投資について財務担当松村博士へ再確認する。

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960

INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABO
UNIÓN INTERNATIONAL DE LABORATORIOS INDEPE
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي للمختبرات المستقلة
国際独立研究所連合
FOUNDED 1960

資料E

# UILI 幹部会

## 2016 年 1 月 26 日 Skype 開催

出席者:

| 国 | 時間 | SKYPE ADDRESS |
|---|---|---|
| ルーク・ショルティス博士 / オランダ / LABWING 社 | 12:00 H | luc_scholtis |
| アルバロ・シルバ・博士 /ポルトガル/RELACRE | 11:00 H | 欠席 |
| ジョルディ・オリバー氏/ スペイン/ AELI | 12:00H | jordi.oliver.rodes |
| マリアンヌ・アデコ氏/ ナイジェリア/FRALS 社 | 12:00 H | subomi.adeeko |
| 松村博士 (IDEA)/ 日本 / JEMCA | 20:00 H | 欠席 |
| マナヘン・フェルナンデス博士/前会長 | 12:00 H | manahen.fernandez1 |
| 事務局：メリッサ・フェルナンデス氏 | 12:00 H | melissafeva |

### 1. 出席者の確認

ショルティス博士は出席者一同を歓迎した。

メリッサ・フェルナンデス氏はシルバ博士と松村博士から欠席の連絡があったことを報告した。

オリバー・ロデス氏は、前回会議に出席できなかったお詫びを述べ、それに対し、ショルティス博士は本日は副会長としての出席に感謝を述べた。

### 2. アジェンダの承認

ショルティス博士はアジェンダ案に追加等の意見はないか確認した。

フェルナンデス博士は、ILAC LCC（試験所委員会）における UILI の活動について加えることを提案した。

一同これに同意し、アジェンダは承認された。

3. **9 月役員会:** 日程と会場の決定

ショルティス博士は、本件についてはシルバ博士から報告がある予定でいたことを述べた。ショルティス博士が今年の UILI 会議はアジア国での開催を考えていたところ、シルバ博士より ILAC が年会をニューデリーで開催予定とのコメントがあったとのこと。UILI としては、ILAC の会議開催に乗じて、会議を「ニューデリー開催とすることは良案であると述べた。

オリバー・ロデス氏は ILAC ニューデリー会議の開催日程について質問した。

フェルナンデス博士は、10 月末と答えた。

ショルティス博士は、日程が 10 月 27 日から 11 月 4 日であることを確認し、UILI 会議を ILAC 会議の後半に併せて開催することを再度提案し、例えば、11 月 3 日、4 日はどうか確認した。彼はまた、ILAC 会議に UILI から代表出席者を出すことの重要性を強調した。本会議開催実施に向け、インドの会員事業所、例えば Eurofins に連絡をとり会議開催の協力を打診することを提案した。

その他出席者は、ニューデリー開催と、日程について同意した。

ショルティス博士は、UILI の会員勧誘の対象を 3 つに分けて考えていることについて説明した。:

1. ヨーロッパ国はその殆どが EUROLAB の会員であることから、EUROLAB に加入してもらう。
2. 南米、アフリカ、アジアの発展地上国。
3. ACIL のような、退会した元会員：昨年 ACIL は設立 75 周年を迎えたがお祝いのメッセージを送らず機会を逃している。いずれにしても、今は近づくタイミングではないと考えているとのこと。

アデコ氏は、JEMCA 以外では UILI はアジアの協会会員がないことに触れ、UILI が新しくアジアの会員を迎えることは良いことであると述べた。また、アフリカには協会自体それほど多く存在しないと述べ、ただし、南アフリカの試験所は有益で、その勧誘を勧めた。

ショルティス博士は EUROLAB は南アフリカに会員を持つと述べ、また、事務局には協会に直接連絡をとり入会を勧めることを勧めた。

フェルナンデス博士はアフリカやアジアの会員増強を図ることも重要な課題だが、今考えるべきことは、ニューデリー開催の UILI 会議で、インド国内での協

力者がいない限り会議実施は難航することを危惧した。また、個人的な経験から、会議成功には、その国内で良い協力を得ることが必須であることを述べた。

ショルティス博士は、ILAC 会議は、UILI が共同で会議を行うには十分に巨大な組織で、UILI は自身の会議運営だけを行えばよくなるのではないかと述べた。ILAC 年会は、会議やソーシャルイベント等、多くの関連行事を用意しているとのこと。

フェルナンデス博士は、ILAC 提案のホテルを UILI 会議で利用するとしても、良案、と合意した。

オリバー・ロデス氏は、ホテルやレストランの手配等に、現地の協力者がいた方が良いと考えることを述べた。また、その地域の会員を増やすのも良い考えであることや、地域協会についても触れた。

ショルティス博士は、一同の賛同が得られれば法人会員探しを開始すると述べた。オリバー氏が触れた地域協会については、存在する地区、国、地域で区切られた試験所組織について、UILI はこれらのグループを網羅する考えであることを述べた。

フェルナンデス博士は開催地と日程について、次のようにまとめた。

a. 開催地: 次回 UILI 会議の開催地はニューデリーに決定する

b. 日程: 次回 UILI 会議は、2016 年 10 月 27、28 日に決定する

フェルナンデス博士は、会議運営に協力してもらうため、インドの事業所もしくは協会を探す考えに合意した。また、事務局が ILAC へ連絡し、ILAC 会議に参加するため、会議開催期間に併せて当会が会議を行うことを伝えることが重要であると述べた。

ショルティス博士はこれらに同意し、次の通り提案した：

- ILAC と連絡をとる: 会場の決定
- UILI のインドの会員へ連絡をとる
- インドの試験所協会へ連絡をとる

## 4. 新規入会協会：会員勧誘活動の状況報告

フェルナンデス博士は、あるコロンビアの協会(ALPIC、ASOCIACION DE LABORATORIOS PRIVADOS INDEPENDIENTES DE COLOMBIA ／コロンビア独立試験所協会)と連絡をとっており、入会を勧めていることを報告した。今週末にも再度連絡し、進展はないか確認する予定とのこと。また、アルフレド･モンテス･ニノ氏から、あるブラ

ジルの協会（Ass. Of Lab for analysis of psychotropic substances／向精神薬分析試験所の協会）と連絡をとっており、UILI へ勧誘するつもりであると聞いていることを報告した。

ショルティス博士はフェルナンデス氏に対し、これら 2 つの協会の名前を議事録に残すことと、アジアの GEOCHEM に連絡をとることを依頼した.

**5. ILP:**

フェルナンデス氏は、2016-2017 年 ILP 計画案に対して、試験実施者の JEMCA、CALIBA、RELACRE いずれからも意見の提出がないことを報告した。募集案内を公開する時期が迫っており、これ以上意見を待つことはできないと述べた。

ショルティス博士は募集案内を配信することを承諾し、フェルナンデス氏へ、ILP 実施計画案をオリバー氏へも送ることを依頼した。

**6. ISO 17025 WG 1 月会議の概要報告:**

アデコ氏は、CD 1 と 2 について、EUROLAB の意見と併せて確認したが、これ以上課題はない考えであると述べた。アデコ氏の意見はイラチェ氏へ送り考えを確認するとのこと。アデコ氏は、フェルナンデス氏に対し、文書を WG 委員へ配信するよう依頼した。

**7. 事務局報告: 債券再投資:**

フェルナンデス博士は、銀行の担当者から我々の口座に利息が入っていないことを知らされたが、投資に関する助言は貰えず、代わりに利点やリスクが記載された債券の情報サイトを紹介され、決断を下さなければならないことを説明した。現時点での彼の考えは次の通り：UILI の現金は数週間から数カ月の間今の状態で保持し、市場の動向をみる。今は不況の影響で投資に良いタイミングとは言えない。時がきて景気が好転したら低リスクの商品を選択する。

オリバー氏は、UILI はリスクを負うことをしてはならないと述べた。

ショルティス博士は、彼自身フェルナンデス博士に同意する考えで、本件は財務担当である松村博士が決めることであると述べた。

**8. ILAC および LLC 関係会議 活動:**

ショルティス博士は、UILI は ILAC 会議に併せて会議を開催することを決定したことで本議事は済んだと述べた。

フェルナンデス博士はこれに同意した。

以上で全議事を終了したため、会長は閉会した。

**結論と作業計画:**

- **次回役員会:** *次回 UILI 年会の開催地と日程が次の通り決定した*
  a. *開催地: インド・ニューデリー*
  b. *日程: 2016 年 10 月 27、28 日*

  ➢ **作業:** (フェルナンデス氏が連絡をとる) (2 月)
  - ILAC へ連絡する: 開催地を確認する
  - 在インドの UILI 会員がいるようであれば連絡する
  - インドの試験所協会へ連絡する
  - プログラム作成

- **新規協会会員: 会員勧誘活動の状況報告**
  *フェルナンデス博士はコロンビアの協会（ALPIC、ASOCIACION DE LABORATORIOS PRIVADOS INDEPENDIENTES DE COLOMBIA ／コロンビア独立試験所協会）と、アルフレド･モンテス･ニノ博士はブラジルの協会（Ass. Of Lab for analysis of psychotropic substances／向精神薬分析試験所の協会）と連絡をとり、UILI への入会を勧める。*

  ➢ **作業:**
  - 引き続き、これら協会との協議を行う(フェルナンデス博士とアルフレド･モンテス博士) (2 月)
  - 勧誘書類一式を入会可能性のある事業所へ配信する(2-3 月)

- **ILP:**
  *2016-2017 ILP 計画について、JEMCA、CALIBA、RELACRE から修正意見等の連絡がないため、最後の案を配信することが決定した。*

  ➢ **作業:** (フェルナンデス氏) (次週)
  - 案内を配信する
  - ILP 実施計画をオリバー氏へ送る

- **ISO 17025 WG 1 月会議の概要報告：**
  *アデコ氏が、CD 1 と 2 の EUROLAB 意見と併せて確認したものについて、それに対する意見を 17025WG 委員とイラチェ氏へ配信し意見を募るようフェルナンデス氏へ依頼した。*

  ➢ **作業**: (フェルナンデス氏) (今週)
  - アデコ氏の意見を 17025WG 委員とイラチェ氏に送る。

- **債券再投資:**

  *現在不況のため投資を行わず、しばらく市場の動向をみて、時がきたら低リスクの債券を購入することが決定した。*

  - **作業: (松村博士)**
    - 投資に関する結論を出すよう、財務担当松村博士に連絡をとる。

- **ILAC および LLC 関係会議 活動:**

  *ILAC と合同での会議開催を決断したことで解決した。*

損益計算書（2015年12月現在）

資料F

| | 2014予算 | 2014実績 | 2015予算 | 2015(12.31現在) |
|---|---|---|---|---|
| **収入** | | | | |
| 会費 | | | | |
| 協会会員 | 15,000.0 | 13,806.0 | 16,910.0 | 16,910.00 |
| 非協会会員 | 4,000.0 | 1,080.0 | 3,000.0 | 1,440.00 |
| 新規会員 | | 1,200.0 | | 1,515.00 |
| **会費合計** | 19,000.0 | 16,086.0 | 19,910.0 | 19,865.00 |
| 広告収入 | | 900.0 | 2,000.0 | 0.00 |
| ワークショップ/labmeetingイベント | | 426.0 | 1,000.0 | 0.00 |
| 利息 | 900.0 | 1,136.3 | 600.0 | 385.72 |
| ILP収入 | 7,000.0 | 2,984.0 | **4,000.0** | **2,654.00** |
| 収入合計 | **26,900.0** | **21,532.3** | **27,510.0** | **22,904.72** |
| **支出** | | | | |
| 銀行手数料 | | | | |
| ﾀﾞﾝｽｹ銀行ﾕｰﾛ口座(No.61) | 400.0 | 802.3 | 500.0 | 499.82 |
| 為替調整費 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.00 |
| ﾀﾞﾝｽｹ銀行ｸﾛｰﾈ債券口座(No.28) | | 50.4 | 30.0 | 40.53 |
| **銀行手数料合計** | 500.0 | 852.7 | 530.0 | 540.35 |
| 監査費 | 300.0 | | | |
| 国際機関会費 | 1,100.0 | 907.3 | 1,028.0 | 950.64 |
| 役員会議費用 | | | | |
| 役員会議費用 | 1,000.0 | 0.0 | 1,000.0 | 1,083.45 |
| ワークショップ費用 | | 0.0 | | |
| 他 | | 0.0 | 1,000.0 | 0.00 |
| **役員会議費用合計** | 1,000.0 | 0.0 | 2,000.0 | 1,083.45 |
| 雑費 | | | | |
| 事務局費 | | | | |
| 人件費 | 16,000.0 | 16,000.0 | 16,000.0 | 16,000.00 |
| 事務局経費 | 500.0 | 147.8 | 300.0 | 202.71 |
| 事務局旅費 | 2,000.0 | 1,294.0 | 2,000.0 | 0.00 |
| **事務局費合計** | 18,500.0 | 17,441.8 | 18,300.0 | 16,202.71 |
| 広告費 | | | | |
| ウェブ管理費 | 4,100.0 | 4,433.0 | 4,433.0 | 4,472.59 |
| デザイン・ソフト技術費 | | 460.0 | 460.0 | 0.00 |
| **広告費合計** | 4,100.0 | 4,893.0 | 4,893.0 | 4,472.59 |
| 支出合計 | **25,500.0** | **24,094.8** | **26,751.0** | **23,249.74** |
| 収入合計 | **26,900.0** | **21,532.3** | **27,510.0** | **22,904.72** |
| **収支** | **1,400.0** | **-2,562.5** | **759.0** | **-345.02** |

備考:

1. 未回収年会費: 1335 €
2. 予算に対し、支出が 3500 € 減
3. 予算に対し、収入が 4600 € 減　主な要因:
   - A.- ILP: 1350
   - B.- 広報費/スポンサー料/ワークショップ収入: 3000
   - C. 利息収入:

2015年会議の収支

| 2015年役員会行事に係る請求による収益 | EUROS |
|---|---|
| 社名 | 請求額 |
| JEMCA | 1640.9 |
| DR. FERNÁNDEZ | 708 |
| LABWING | 1124.17 |
| RELACRE | 713.06 |
| MRS. ADEEKO | 21 |
| P.A LAB. DE AGUAS | 75 |
| 収入合計 | 4,282.16 |

| 役員会費用 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 宿泊費 | | | | 1650 |
| CALIBA会長・事務局への手土産 | | | | 46.1 |
| 水曜日夕食会 | | $ 3,900.00 | アルゼンチン ペソ | 354.55 |
| CALIBAG立替分の精算額 | | $ 36,464.60 | アルゼンチン ペソ | 3,314.96 |
| 費用合計 | | | | 5,365.61 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ブエノスアイレス会議に係る収支 | | | − 1,083.45 |

2015年8月25日現在

## 年会費請求

| 年会費請求 | 日にち | 会員番号 | 請求書番号 | 支払状況 | 請求額 |
|---|---|---|---|---|---|
| **協会会員：** | | | | | |
| AELI | 2015/3/3 | 1120 | 15/0018 | 受領 | 1950 |
| JEMCA | 2015/3/4 | 556 | 15/0019 | 受領 | 6136 |
| CCIL | 2015/8/3 | 394 | 15/0043 | 受領 | 2925 |
| CALIBA | 2015/2/10 | 5312 | 15/0010 | 受領 | 1950 |
| VRS | 2015/3/4 | 1157 | 15/0020 | 受領 | 1755 |
| RELACRE | 2015/3/3 | 1797 | 15/0017 | 先方支払手続中 | 2193.75 |
| | | | | | **16909.75** |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **非協会会員：** | | | | | |
| Eurofins Scientific Group | 2015/2/10 | 447 | 15/0012 | 受領 | 180 |
| Al Hoty-Stanger Ltd. | 2015/3/4 | 7 | 15/0021 | 受領 | 180 |
| GEOS N.V. | 2015/3/4 | 361 | 15/0024 | 受領 | 180 |
| EkoSmyrna Laboratuvari | 2015/3/4 | 5102 | 15/0025 | 受領 | 180 |
| Nestec Ltd. Research Centre | 2015/3/4 | 5104 | 15/0027 | 受領 | 180 |
| Edtech Associates Sdn. Bhd. | 2015/3/4 | 1733 | 15/0023 | 受領 | 90 |
| Frals testing and consulting service | 2015/3/4 | 2322 | 15/0026 | 受領 | 90 |
| | | | | | **1080** |

**新規会員請求：**

| 年会費請求 | 日にち | 会員番号 | 請求書番号 | 支払状況 | 請求額 |
|---|---|---|---|---|---|
| Microbitoicos Paraguay SR | 2015/2/10 | 6368 | 15/0001 | 受領 | 90 |
| Microbioticos Uruguay | 2015/2/10 | 6369 | 15/0002 | 受領 | 90 |
| Microbioticos Analises Laboratoriais | 2015/2/10 | 6370 | 15/0003 | 受領 | 180 |
| PA laboratório de águas | 2015/2/10 | 6371 | 15/0004 | 支払催促済 | 180 |
| | | | | | **540** |

**非協会会員　年会費　受領合計**　**1620**

## 年会費　未回収

| 年会費請求 | 日にち | 会員番号 | 請求書番号 | 支払状況 | 請求額 |
|---|---|---|---|---|---|
| Flandres Analyses | 2015/2/10 | 2096 | 15/0013 | 支払催促済 | 180 |
| Oikonomidis R.T.I. Ltd. | 2015/2/10 | 1848 | 15/0014 | 支払催促済 | 180 |
| Institute of Public Analysts of N | 2015/8/4 | 5275 | 15/0044 | 手続き中 | 975 |
| | | | | | **1335** |

2015年8月25日現在

| 第9回UILI-ILP | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国 | 会員名-1 | 会員名-2 | 連絡担当者名 | 連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | 金額 | 受領状況 | |
| Spain | Laboratorio Dr. Oliver Rodés S.A. | | Attn. Miss. V. H. Herranz | avh@oliver-rodes.com | 200 | 受領 | |
| Argentina | Wasser Servicios Industriales S.A | | Attn. Ing. Grandi | fgrandi@laboratoriowasser.com.ar | | | CALIBAとのLABMEETING精算と併せて精算済 |
| Argentina | SGS Argentina S.A. | Laboratorios Inorgánicos | Attn. Miss Astore | mariana.astore@sgs.com | 200 | 受領 | CALIBAとのLABMEETING精算と併せて精算済 |
| China | CSD IDEA (Beijing) | Environmental Test & Anal | Attn. Mr. Yamazaki | ymz20839@ideacon.co.jp | | | JEMCAより請求 |
| France | Air Liquide France Industrie | Balazs NanoAnalysis | Attn.: M. P. Bouard | pascal.bouard@airliquide. | 300 | 受領 | |
| Germany | Kiwa GmbH | | Attn. Mr. Söllig | michael.soellig@kiwa.de | 300 | 受領 | |
| Belgium | GEOS | | Attn. Mr. Soers | jsoers@geos.be | 200 | 受領 | |
| Korea | Industry-University Cooperation Fou | Center for Instrumental Ana | Attn. Ms. Ji-young | ohjy@ks.ac.kr | 300 | 受領 | |
| Portugal | Instituto Politécnico de Beja - Escola Superior Agrária | | | | 160 | 受領 | |
| France | Air Liquide France Industrie | Balazs NanoAnalysis | Attn.: M. P. Bouard | pascal.bouard@airliquide. | 300 | 受領 | |
| Korea | Pharm-Steril Institute, IKScience. Co., Ltd. | | Attn. Mr. Kim | jbkim@ikscience.com | 300 | 受領 | |

| | |
|---|---|
| JEMCA 収支 | 394 |
| UILI収入合計 | 2654 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| México | Atlatec, SA de CV | | Attn. Sr. Álvarez | hilda.arellano@atlatec.cor | 300 | 未回収 |

2015年8月25日現在

| 銀行 利息/費用 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 利息　ﾃﾞﾝﾏｰｸｸﾛｰﾈ口座 DKK (28) | | | 銀行手数料 € ユーロ口座 (61) | | | 銀行手数料 ﾃﾞﾝﾏｰｸｸﾛｰﾈ口座 DKK (28) | |
| 4月1日 | 2878.6 | | 銀行手数料 | 487.82 | | 1月1日-3月31日 | 30 | |
| **合計DKK** | **2878.6** | | Donor's bank | 12 | | 6月12日 | 112.5 | 管理手数料 |
| **合計 €** | **385.72** | | **合計 €** | **499.82** | | 6月30日−7月1日 | 45 | |
| | | | | | | 7月1日−9月30日 | 45 | |
| | | | | | | 10月1日−12月31日 | 70 | |
| | | | | | | **合計DKK** | **302.5** | |
| | | | | | | **合計 €** | **40.53** | |

**換算レート**　**7.462926475**

資料G

## 貸借対照表（2015年12月31日現在）

| 項目 | 借方 € | 貸方 € | 備考 |
|---|---|---|---|
| ダンスケ銀行 #668861 ユーロ口座残高 | **23,125.91** | | (172.577 DKK) |
| ダンスケ銀行 #9128 クローネ口座残高 | 19,908.86 | | **148.569 DKK** (利息なし) |
| 債券<br>Danske service acct #4777825860 DKK | 20,155.13 | | **150.407,67 DKK**<br>(2015年9月4日まで定期預金口座 0,4%固定金利) |
| 未回収金（2015年12月31日現在） | 600 | | ブエノスアイレス会議における役員からの宿泊費差額 |
| | 394 | | JEMCAよりILP収入 |
| | 300 | | ATLATEC（メキシコ） ILP未払い |
| | 1,335 | | 2015年会費未払い |
| 2015年 未払い金（2015年12月31日現在） | | -4,000 | 第4四半期事務局人件費 |
| | | -1165 | CALIBAへ支払いのブエノスアイレス会議費差額 |
| 合計 | 65,818.90 | -5165 | |
| 純資産（2015年12月31日） | **60,653.90** | | |

# アデコ氏キャンセル費用

| アデコ氏キャンセルによる収支 | EUROS |
|---|---|
| 8/21付 宿泊予約関係の送金 | $ 1,904.91 |

| 役員会議関係宿泊費 | |
|---|---|
| 宿泊費最終 | 1629 |
| キャンセル手数料 | 21 |
| 費用合計 | 1,650.00 |

| | |
|---|---|
| 収支 | 254.91 |

財務担当と要相談
事務局より割引交渉

## 2015年 フェルナンデス博士　請求書/支払 収支

| フェルナンデス支払済 項目 | | フェルナンデス博士の負担項目 | |
|---|---|---|---|
| 1. 9/16(水)役員夕食会　役員・同伴者食事代 | 367.58 | フェルナンデス夫妻分、ブエノスアイレス会議ソーシャルイベント参加費 | 708 |
| 2.- 手土産代 | | | |
| CALIBA事務局 | 33.2 | | |
| CALIBA会長 | 12.9 | | |
| 3.- 2015事務局事務雑費 | 202.71 | 現金で預かった、LAB. PA AGUAS社(ブラジル)2015年会費とジョセアン・オクタビアニ氏LABMEETING参加費 | 255 |
| 合計 | 616.39 | | 963 |
| フェルナンデス博士の最終負担額 | | | 346.61 |
| 追加支払い項目 | | アデコ氏キャンセル料差額 | 254.00 |
| | | 合計 | 600.61 |

2015年12月31日現在、役員会に係る宿泊費収支差額